

各機関からの議題及び報告事項

【報告事項】

○新潟大学

- ・工学部建設学科 1 年生対象講義「社会基盤工学概論」における「社会基盤工学分野で働く女性技術者による座談会」 P 2

○新潟県教育庁高等学校教育課

- ・県立新潟工業高校のキャリア教育の取組 P 3
- ・平成 27 年度県立専門高校メッセについて P 6

○(一社)新潟県測量設計業協会

- ・測量特番「ふるさとを守り、未来を創る ～測量士の仕事と役割～」のテレビ放映及び活用について P15

○長岡工業高等専門学校

- ・JSC00P (Job Search for local companies based Cooperative education) P21

○北陸地方整備局

- ・現場見学後のアンケート調査について P23

【提案議題】

○北陸地方整備局

- ・建設界の役割や仕事の魅力を効果的に伝えるためのポイントについて P26

○(一社)建設コンサルタント協会北陸支部

- ・「北陸建設界の担い手確保・育成協議会」として連携した広報活動について P27

平成28年 3月24日

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会
(新潟県部会)

報告事項

機関名：新潟大学

件名

工学部建設学科 1 年生対象講義「社会基盤工学概論」における「社会基盤工学分野で働く女性技術者による座談会

要旨

工学部建設学科の 1 年生を対象とした講義「社会基盤工学概論」の 1 コマを使い、「社会基盤工学分野で働く女性技術者による座談会」を企画・実施した。本講義は、社会基盤工学分野における「女性技術者」に焦点を当て、「社会基盤工学コースを卒業した際のキャリアパスの提示」や「女性技術者から見た社会基盤」に関して、公官庁、民間にお勤めの女性技術者から実際にお話をいただき、社会基盤工学コースにおける教育・研究の意義と社会への還元、社会基盤工学分野の重要性について、学部 1 年生が学習することを目的としたものである。

講義の内容としては、上記内容の趣旨説明の後、4 名の女性技術者の方々には、主に、土木コース、土木業界に入ったきっかけや、現在の仕事内容、大学での生活・学習・研究内容、大学での教育・研究が現在の仕事にどのように役立っているか、最後に土木の魅力、仕事への情熱、また土木の魅力、仕事への情熱についてご講演をいただいた。最後に討論会を行い、一番楽しかった仕事内容や、福利厚生面の現状、女性から見た土木分野の改善点等についてディスカッションを行った。

議題及び報告事項（※自由様式）

機関名：新潟県立新潟工業高等学校

件名

県立新潟工業高校のキャリア教育の取組

要旨

①別紙を参照して下さい。

県立新潟工業高等学校 キャリア教育
H27年度 デュアルシステム

土木・建築関係

科	学年	人数	企業名	期間	日数
建築科(建築コース)	2	1	山崎建築	7/25～8/5	10
	3	2			
	2	3	(株)加賀田組	7/27～8/7	10

H27年度 インターンシップ

科	学年	人数	企業名	期間	日数
土木科	2	2	建設業協会	7/9～7/10	2
		2	(株)福田組		2
		2	(株)加賀田組		2
		2	(株)新潟藤田組		2
	2	2	(株)近藤組	7/9～7/10	2
		2	測量設計業協会		2
		2	(株)新栄技術		2
		1	恒陽測量(株)		2
	2	1	(株)ナルサワコンサルタント	7/9～7/10	2
		2	信広技術(株)		2
		2	道路建設業協会	7/9～7/10	2
		2	(株)加賀田組		2
		2	福田道路(株)		2
		2	本間道路(株)		2
	2	1	建設コンサルタント協会	7/9～7/10	2
		2	エヌシーイー(株)		2
		1	開発技建(株)		2
		2	(株)キタック		2
	2	3	(株)ナルサワコンサルタント	7/9～7/10	2
		3	新潟市土木部		2
	2	1	西部地域土木事務所	7/9～7/10	2
		1	新潟市下水道部		2
		1	東部地域下水道事務所		2
		1	下水道管理センター		2
	2	2	西部地域下水道事務所	7/9～7/10	2
		2	北陸地方整備局		2
		2	新潟国道事務所		2
		2	阿賀野川河川事務所		2
建築科(建築設備コース)	2	2	新潟港湾・空港整備事務所	8/3～8/7	2
		3	阿賀野川河川事務所		5
		4	(株)新潟日立		2
		4	新潟企業(株)		2
		4	ダイタン(株)新潟支店		2
		5	興洋管建(株)		2
	2	5	(株)ナカムラ	8/4～8/5	2
		4	千代田設備(株)		2

H27年度 ものづくり技能・技術の伝承事業

科	学年	人数	企業名	期間	時間
土木科	3	5	(株)シーキューブ	9/29・11/10	4H
建築科(建築コース)	3	38	(一社)新潟県建築士会	4/30	2H
建築科(建築設備コース)	2	39	小池設備	2月or3月	2H

H27年度 課題研究

科	学年	人数	企業名	期間	時間
土木科	3	5	(株)シーキューブ	4/28・6/16 6/23・9/1 9/29・11/10 12/22・1/8	16H
建築科(建築コース)	3	8	(株)福田組	5/28 11/5	3H 3H
建築科(建築設備コース)	3	6	新潟県立大学 教授 坂口 淳	6./22 11/16	3H 3H

H27年度 若年技能者人材育成支援事業 実技指導会

科	学年	人数	企業名	期間	時間
建築科(建築コース) 技能検定(建築大工2級)	2・3	4	ものづくりマイスター (有)諸橋建築 落合 忠司	11/7 12/19 12/25	6H 6H 3H
建築科(建築設備コース) 技能検定(建築配管2・3級)	1・3	29	ものづくりマイスター (株)千代田設備 沢口幸栄	11/5・12 12/7・14 1/21・28	6H 6H 6H
建築科(建築設備コース) 技能検定(冷凍空気調和 機器施工2・3級)	1・3	17	ものづくりマイスター 新潟機器(株) 白井孝一	11/5・12 12/7・14 1/21・28	6H 6H 6H

H27年度 工場見学

科	学年	人数	企業名	月日
土木科	1	40	NEXCO東日本 木津トンネル現場見学	7/17 9:30～15:20
	1	40	山の下閘門排水機場及び 通船川工事現場	10/28 9:00～12:00
	2	38	消融雪製品の製造工程の見学 消雪用井戸の掘削機械の見学	10/22 8:50～15:30
	2	38	ござれや阿賀橋見学	10/15 11:00～14:35
	3	39	栗ノ木雨水・地表工事見学 阿賀野バイパス工事見学	10/16 9:00～14:50
	保護者	13	六郷堤防駿東対策工事見学 小松地区堤防見学 吉津トンネル見学 北陸地方整備局防災施設見学 意見交換会	10/31 10:00～16:00
建築科(建築コース)	2	39	新潟市消防局・ 中央消防署庁舎建築工事現場	6/25 10:30～11:30
	3	38	新潟木戸中学校改築工事現場	6/18 12:30～15:30
建築科(建築設備コース)	1	40	白根水道町ポンプ場建設工事現場	11/6 13:05～15:30
	2	39	新潟市中部下水処理場	12/14 9:00～12:30
	3	41	日報メディアシップ施設設備見学	12/3 13:00～15:00

報告事項

機関名：新潟県教育庁高等学校教育課

件名

平成 27 年度県立専門高校メッセについて（報告事項）

要旨

- ・平成 27 年 8 月 11 日(火)に、昨年と同じ「シティホールプラザ アオーレ長岡」を会場に、長岡市教育委員会との共催で開催しました。
- ・参加人数は 2,485 人と、過去最高でした。
- ・参加した学校、企業等の数は、合計 147 でした。
- ・参加後のアンケートでは、中学生の 97.4%が「参考になった」「やや参考になった」、高校生の 99.4%が自校の魅力や特色を「再認識できた」「やや再認識できた」と答えていました。

※ 別紙資料参照

別紙資料

平成27年度 県立専門高校メッセ開催要項

1 目 的

- (1) 中学生が専門高校や専門学科に対する理解を深める機会とし、中学生の進路選択の一助とする。
- (2) 専門学科の高校生が、自校の魅力や内容を再確認する機会とし、自校の特色をPRする活動を通して学校の活性化に寄与する。
- (3) 中学生が高校卒業後や、大学等卒業後を見据えた将来について考える機会とする。

2 開催期日 平成27年8月11日(火)

3 会 場 シティホールプラザ アオーレ長岡
(長岡市大手通1丁目4番地10)

4 主 催 新潟県教育委員会

5 共 催 長岡市教育委員会

6 参加高校 農業科・工業科・商業科・水産科・家庭科・その他の専門学科及び総合学科を設置する県立高等学校

学科	学 校 名
農業	加茂農林 新発田農業 長岡農業 高田農業
工業	新潟工業 新津工業 新発田南 長岡工業 新潟県央工業 柏崎工業 塩沢商工 上越総合技術
商業	新潟商業 新発田商業 長岡商業 三条商業 塩沢商工 高田商業
家庭	新潟中央 長岡大手 高田北城
総合	巻総合 五泉 村上桜ヶ丘 十日町総合 柏崎総合 栃尾 小千谷西 佐渡総合
その他	海洋 八海

なお、長岡市共催により、上記の高等学校のほか、長岡市を中心とした普通高校や私立高校も参加します。

7 内 容

- (1) アリーナ、ナカドマ、市民交流ホールA
 - ①開会式、農業・工業・商業の専門学科紹介
 - ②学校紹介(ブース演示)
高校生による自校の特色ある学習内容の紹介、作品展示、実習体験等
- (2) 市民交流ホールB、C、D
 - ①県内大学による大学案内及び県内専門学校による学校案内
 - ②ものづくり技術の紹介等による県内産業紹介、就労に関する啓発

8 開催日程

9:40～10:00	午前の部 受付	13:10～13:30	午後の部 受付
10:00～10:40	開会式・学科紹介	13:30～14:10	開会式・学科紹介
10:40～12:30	ブース演示	14:10～16:00	ブース演示

(補足)

- ・午前の部、午後の部は同じ内容となります。
- ・ブース演示の時間帯に、市民交流ホールAで部活動等の活動発表もあります。

平成27年度県立専門高校メッセ 報告

期日：平成27年8月11日

会場：ながおかシティホール アオーレ長岡

参加人数： 2485人

(中学生1347、保護者・引率437、一般59、高校生382、高校教員等216、
大学企業44)



アンケート結果

中学生 Q. 専門高校メッセに参加された感想をお聞かせください

- | | |
|-----------------------------|-------|
| a. 将来の進路を考える上で、参考になった | 78.2% |
| b. 将来の進路を考える上で、やや参考になった | 19.2% |
| c. 将来の進路を考える上で、あまり参考にならなかった | 1.7% |
| d. 将来の進路を考える上で、参考にならなかった | 0.4% |

保護者等 Q. 専門高校メッセに参加された感想をお聞かせください

- | | |
|-------------------------------|-----|
| a. 将来の進路を考えさせる上で、参考になった | 68% |
| b. 将来の進路を考えさせる上で、やや参考になった | 30% |
| c. 将来の進路を考えさせる上で、あまり参考にならなかった | 2% |
| d. 将来の進路を考えさせる上で、参考にならなかった | 0% |

高校生 Q. 専門高校メッセに参加して、自校の魅力や特色を再認識できましたか

- | | |
|--------------|-------|
| a. 再認識できた | 69.8% |
| b. 少し再認識できた | 29.6% |
| c. 再認識できなかった | 0.6% |

平成27年度 県立専門高校メッセ

業務完了報告書

平成27年8月17日

 株式会社 新宣



記録写真

○アリーナ



○普通科



○体育科



○家庭科



○工業科



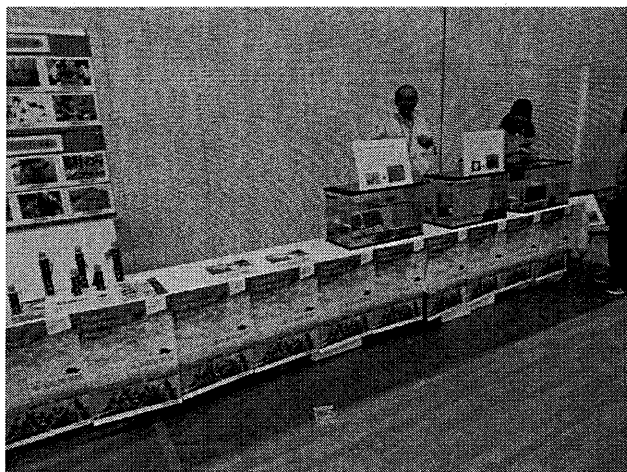
○総合科



○農業科



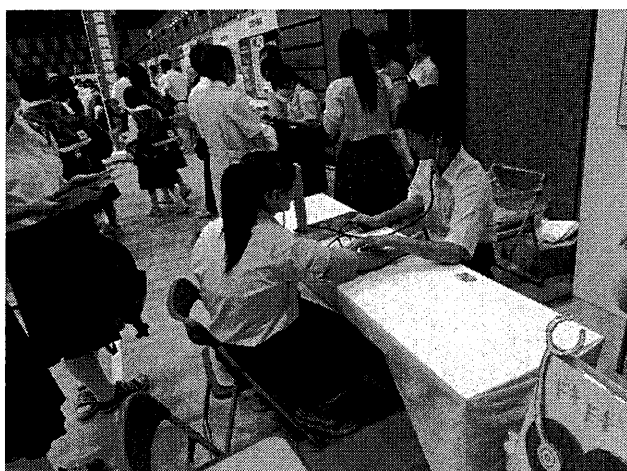
○水産科



○商業科



○看護科



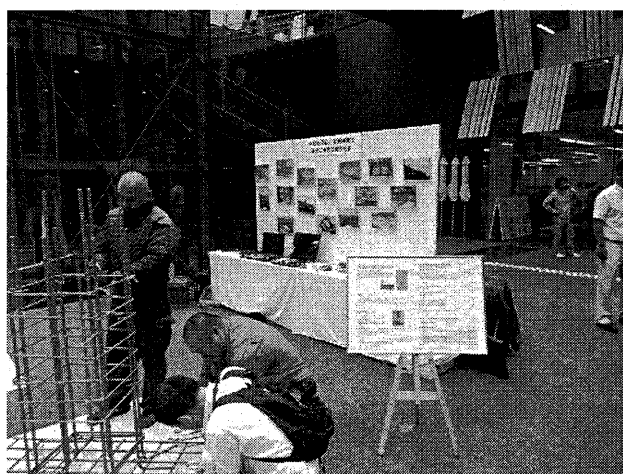
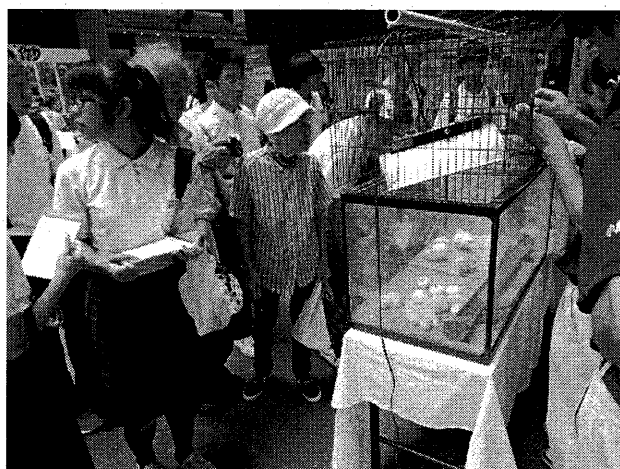
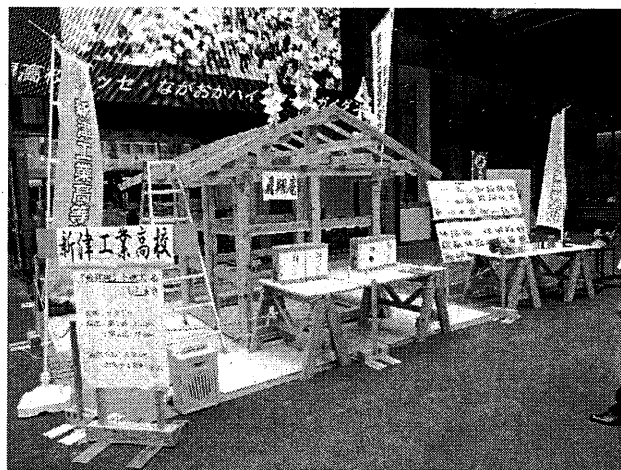
○長岡市立高等総合支援学校



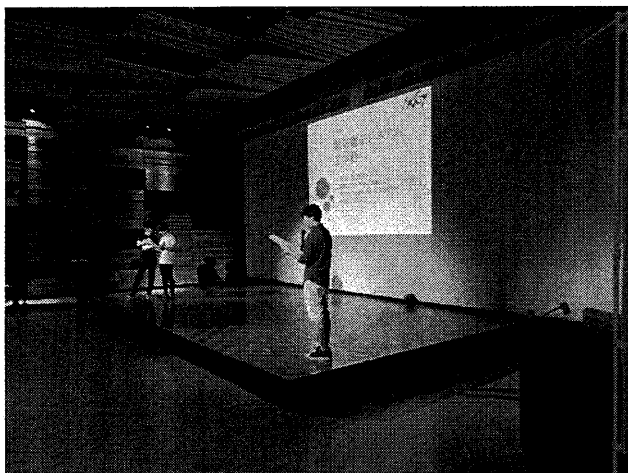
○ステージ



○ナカドマ



○交流ホールA



○交流ホールB・C



○交流ホールD



報 告 事 項

団体名：一般社団法人 新潟県測量設計業協会

件名

測量特番「ふるさとを守り、未来を創る ～測量士の仕事と役割～」のテレビ放映及び活用について

要旨

- ☐ テレビ放送番組として、測量特番「ふるさとを守り、未来を創る ～測量士の仕事と役割～」と題した20分番組を制作し、平成27年11月28日に放映しました。
- ☐ 番組内容は別紙のとおりであり、現在、協会ホームページに掲載して測量設計業の魅力を広くアピールしているところです。
- ☐ また、動画DVDを無償で貸し出しており、教育関係者の皆様からキャリア教育や就職活動等の教材として使用していただくなど、将来の担い手の確保・育成に繋がるよう活用を図っていきたいと考えています。



測量業に携わる若者や測量士を目指している生徒などのインタビューを交えながら、地図の歴史、測量の仕事と役割、最新技術、測量士資格取得等をわかりやすく紹介します。

動画を(一社)新潟県測量設計業協会ホームページ【<http://www.shinsoku.org/>】でご覧ください。

道路や河川、そして建物など、どんな建築物も“測量がはじめての一步”



私たちの生活に欠かせない地図。「行基図」「伊能図」を通して地図の由来を紹介



日本で最も古い地図は、奈良時代に僧侶・行基が作ったと言われている「行基図」です。(筑波大学附属図書館 所蔵)



伊能忠敬像



大図佐渡

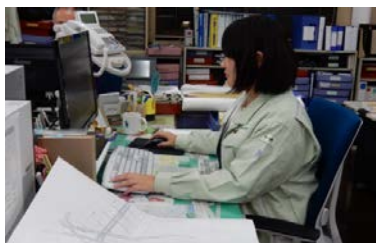
江戸時代に日本国中を測量して回り、初めて実測による日本地図を完成させたのが伊能忠敬です。その地図は極めて精度が高く、明治以降国内の基本地図の一翼を担いました。

(伊能忠敬記念館 所蔵)

皆さんは、ご覧のような測量をしている姿を見たことがありますか。



測量の現場では、いろいろな測量機器を使って、土地の距離・角度・高低差などを正確に測って土地の形状を表す「地形図」を作成します。



この「地形図」をもとに、その環境条件・地形条件に相応しい構造を考え、デザインをする設計作業では、パソコンなどを使って「設計図」を作成します。

ここまでの、測量設計業の仕事です。

測量は「豊かで快適な暮らし」と「安全・安心な暮らし」を支える大切な仕事



測量の仕事に携わっている若者、災害復旧を担当した測量技術者にインタビュー

□ 測量に携わっている若者たちにインタビュー



- ・測量の仕事のやりがいは…
- ・測量の仕事に就こうと思ったきっかけは…
- ・測量の仕事を目指す女性に…

□ 災害復旧を担当した測量技術者の体験談



中越大震災



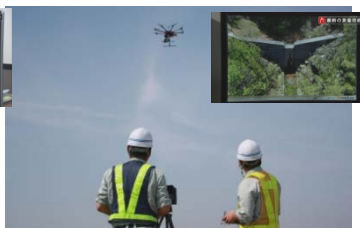
新潟福島豪雨災害



最新の測量技術を紹介



MMS



UAV



深浅測量

高等学校、専門学校で測量技術を学んでいる生徒たち

- インターンシップ、高校生ものづくりコンテストで活躍している高校生たち



インターンシップ



ものづくりコンテスト全国大会



- 新潟工科専門学校で測量のスペシャリストを目指す生徒たちにインタビュー



測量士及び測量士補になるには ～ 国家資格取得の紹介 ～



- 国家試験に合格して資格を取得



- 上記以外にも、新潟工科専門学校のような認定された学校を卒業すると測量士補の資格が与えられます。その後2年間、測量の実務経験を積むことで国家試験が免除され、測量士の資格を取得できます。

測 量 の 現 場 で 活 躍 す る 若 者 か ら の メ ャ セ ー ジ

□ 専門学校を卒業して入社2年目。現在、深淺測量を担当



- ・測量の仕事で大切なことは…
- ・測量の仕事の魅力は…
- ・どんな測量士になりたいか…

□ 高校を卒業して1年目の新人社員。応用測量・土木設計補助を担当



- ・測量にどんなイメージを持っていたか…
- ・測量の仕事に就こうと思ったきっかけは…
- ・実際に測量の仕事してみても…
- ・測量の仕事を目指す女性にメッセージを…

自然豊かなふるさとの大地を守り、美しい未来を創る。あなたも、測量士を目指し、一緒に明るい未来を創っていきませんか！！



画像提供：NST
収録時間：20分

動画DVDを無償でお貸しいたします。詳しくは当協会事務局までお問い合わせください。

【連絡先】

一般社団法人 新潟県測量設計業協会 事務局

TEL:025-267-1110

E-mail:shinsoku2@vanilla.ocn.ne.jp

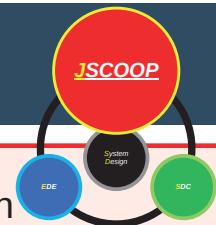
FAX:025-233-2750

報告事項

機関名：長岡工業高等専門学校

件名
JSCOOP (Job Search for local companies based Cooperative education)
要旨
JSCOOP (Job Search for local companies based Cooperative education) は、地域産業界と連携して、課題抽出力、課題解決力を備えたイノベーション人材の育成を目的とした実践的教育科目である。 JSCOOP の中で学生が取り組むミッションは2つある。一つ目は、県内の協力企業を対象として、歴史、保有技術などを十分に把握した上で、当該企業に所属する専門技術者に対して行う取材である。取材活動を通じて自らのキャリアを継続的にデザインする能力を身につける。また、取材で得た企業情報を基に、対象者によらず当該企業を理解できる PR 記事を作成し、専門分野での情報収集や情報発信能力を身につける。二つ目は、取材活動を通じて、現在企業が抱えている問題の課題化と、その解決策の提案である (資料 1・2 参照)。 JSCOOP の本格的な運用は 2017 年度の予定であり、本科 5 年生、専攻科 1, 2 年生が立場を変えながら、上記 2 つのミッションに取り組む。本科 5 年は主に、協力企業への取材活動全般を担当する。専攻科 1 年生は、本科 5 年の取材活動の指導を担うとともに、企業から抽出した問題を課題化し、その対策を考えるチームのコアとなる。専攻科 2 年生は、本科 5 年生、専攻科 1 年生の指導に加えて行動の評価を行う。 平成 27 年度は、専攻科 1, 2 年生がいないことから、教員が指導・評価 (専攻科 1 年・2 年) の部分を担当し、JSCOOP を実施した。現状の受講人数は 12 名であり、その内訳は、機械工学科 5 名、電子制御工学科 5 名、環境都市工学科 2 名である。県内協力企業数は 5 社であり、すべて建設関連業に携わる県内企業である。 夏季休業中の 1 日ないし 2 日間、県内協力企業に学生が数人のグループで訪問し、取材活動を実施するとともに、実際の現場に出向き、リアルタイムで問題となっていることを抽出した。 取材を実施する前に企業担当者と取材方針および PR 原稿のデザインを確認し、取材当日までに合意形成を図った。企業側には、出来るだけ学生の取材方針に即した取材活動が展開できるように、事前に社内調整を行って頂いた。当日は、学生の取材活動に即した取材活動が概ね実行できた。また、現状企業が抱えている様々な問題を実際の現場を視察しながら説明を受けたため、学生も問題把握がスムーズにできたと思われる。現在各協力企業の PR 原稿は作成済みであり、年度末に抽出した問題を課題化し、解決策を協力企業に提案する予定である。 JSCOOP は先に述べたように、課題解決と PR 原稿の作成の 2 本柱で構成された教育プログラムであるが、後者の PR 原稿は、学生が主体となって地元企業に訪問するため、従来のインターシップに比べて学生のモチベーションは高い。2016 年度は協力企業数を増やし、低学年への水平展開を計画している。 2015 年度協力企業 (5 社) エヌシーイー株式会社、株式会社大石組、株式会社 笠原建設、株式会社 キムラ、株式会社 ダイアテック (五十音順)

Jscopeとは？



Job Search for local companies based Cooperative education

地域産業界と連携して、課題抽出力、課題解決力を備えた**地産地消型人材**を育成するアウトプット型の教育プログラム

step1

- 学生が連携**企業を取材**し、取材先企業の理念、歴史、業務内容、保有技術に加え、地域、国内外での役割等について、情報収集
- 現在抱えている**取材先企業の問題**について情報収集



step2

- 取材を基に、学生目線の**インタビュー記事**を作成
- 現在抱えている取材先企業の**問題を課題化**



Step3

- **インタビュー記事**は取材先企業の理解を得た上で、WebやSNSなどを通じて情報発信
- 抽出課題について、学生が複合的な視点で課題解決に取り組む（自己啓発課題型学習・エンジニアリングデザインとの連携）

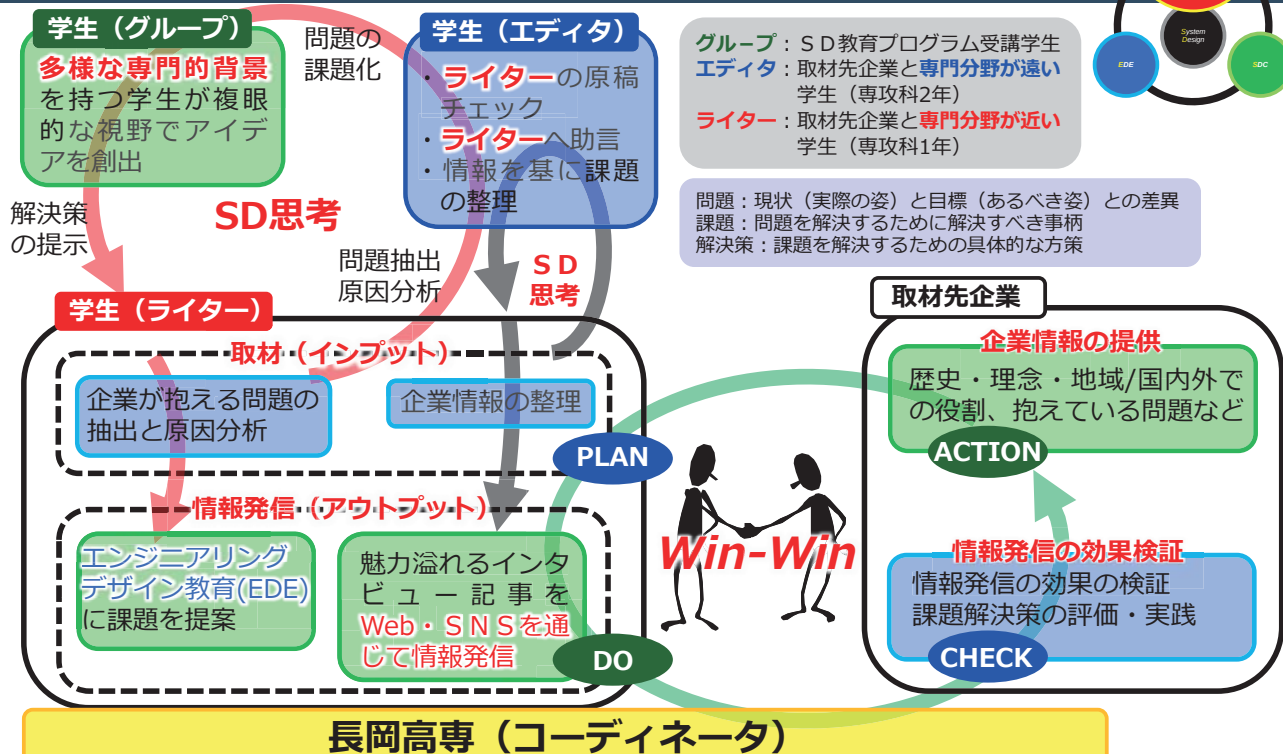


—System Design Education Program—

1

Jscopeのミッション

- ① 企業の**魅力**を世界へ**発信**
- ② 企業で抱える**問題**を**解決**



—System Design Education Program—

2

-22-

議題及び報告事項（※自由様式）

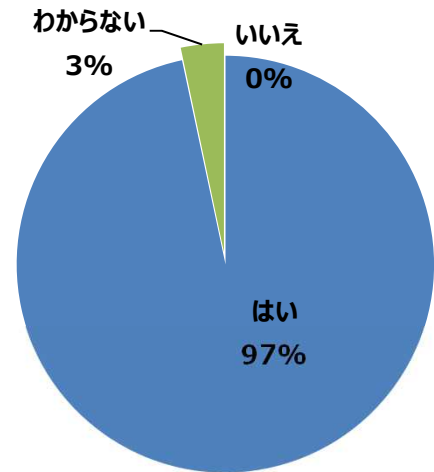
事務所名：信濃川下流河川事務所

件名 現場見学後のアンケート調査について
要旨 新潟県立加茂農林高校にあつては、現２年生（３０名）に対し昨年度末及び本年度と工事進捗にあわせて２回同一現場を見学いただいたところであり、その後アンケートを行った。集計結果は別添のとおり。 （参考１：アンケート設問） 設問１ 今回の見学会で、建設業界に対し魅力を感じましたか？その理由とあわせて教えてください。（選択項目：はい、いいえ、わからない） 設問２ 今回の見学会は、あなたにとって何か参考になるものでしたか？どんなことに参考になったかあわせて教えてください。（選択項目：はい、いいえ、わからない） 設問３ 今回の見学会でよかったと思う点や悪かった、あるいは改善した方がよいと思われる点を教えてください。 設問４ こんな見学会などがあつたらいいな、ということがあればお教えてください。 （参考２：見学会内容） H27.3.31 ・ 事業説明 ・ UAV 測量実演 ・ 卒業生（一年目建設会社社員・ベテラン国交省職員） ・ MG データ作成 H27.7.15 ・ 現場概要説明 ・ 現場での取組（熱中症対策・過積載防止・粉塵対策） ・ MC バックホウ実演 ・ 工事測量体験（TS）

◆今回の見学会で、建設業界に対し魅力を感じましたか？その理由とあわせて教えてください。

【理由】

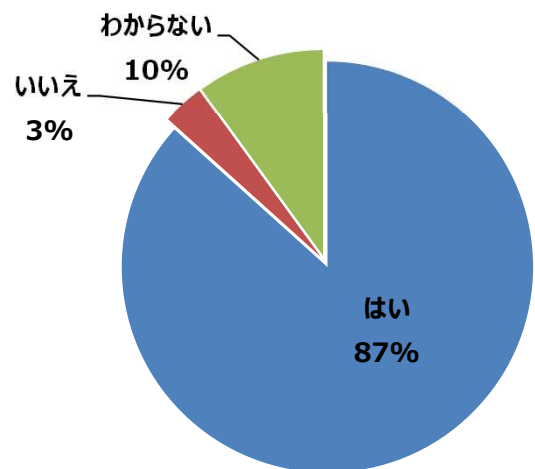
- ・M C バックホウ、スパッツを見れた。
- ・**建設業界に様々なところで最新技術が導入されている**から
- ・作業の効率化が進んでいることに驚いた
- ・子供の頃 B H に乗りたい夢があって、実際に見れたから
- ・**コミュニケーションをとりあいながらの仕事が楽しそう**と思った
- ・重機や測量機器が自動化しているから
- ・大きな機械を動かしていること
- ・分かりやすく説明してくれたため
- ・**自分のイメージと違ってとても技術が発達していた**から
- ・機械だけで測量ができることが魅力的
- ・1つ1つの作業工程には全てに意味があるということ
- ・**建設業界に女性も必要とされていることを知ることができた**から
- ・大変な仕事だが、**完了したときの達成感がとても大きい仕事**と思った
- ・普段見れない作業を見ることができたから
- ・授業で習ったことを使えるから
- ・これからも大切になってくるということが（説明を聞いて）伝わったから
- ・まだわからない部分が多かった



◆今回の見学会は、あなたにとって何か参考になるものでしたか？どんなことに参考になったかあわせて教えてください。

【どんなことが参考になったか】

- ・現場での動き方・必要なこと
- ・情報化が新しい目線を与えてくれた
- ・測量も器械が自動でできること
- ・仕事の大変さ
- ・いろいろな熱中症対策があるということ
- ・建設業界もいいなと思った
- ・**将来について深く考えるようになった**
- ・コミュニケーションをとるということ
- ・授業で習ったことが出てきたこと
- ・資格を取った方がいいということ
- ・入社時の体験談はこれからの学校生活に活かそう
- ・**自分たちの年齢に近い先輩の体験談**
- ・**高校でどんなことをしておくべきかを聞いて、将来に向けての準備に参考**になった



◆今回の見学会で良かったと思う点や悪かった、あるいは改善点した方がよいと思われる点を教えてください。

【よかった点】

- ・説明がわかりやすかった
- ・**前回よりも理解ができた**
- ・実際に稼働しているところを見せて説明してくれたところ
- ・**見学項目が多かったこと**
- ・間近で見学できたこと
- ・**入社2年目の先輩の体験談を聞いたこと**
- ・笑顔
- ・実働しているところを見て、説明で聞いた意味がよく理解できたこと
- ・**自分たちへの配慮（熱中症対策グッズを配ってくれたり）**



【悪かった・改善した方がいい点】

- ・**周りの音で説明が聞こえない**時があった
- ・B Hの説明の際、**初めて聞く話ばかりだったのに省略してお話されていて、最初の方、理解に苦しみました**
- ・重機の説明の資料もあった方がさらにわかりやすいと思います。

◆こんな見学会などがあつたらいいな、ということがあれば教えてください。

- ・実際に**自分たちも体験しながら学べる**ようなもの
- ・**国交省の見学**
- ・機械に乗れる見学会



提案議題

事務所名：北陸地方整備局

件名

建設界の役割や仕事の魅力を効果的に伝えるためのポイントについて

要旨

各機関・団体において現場見学会、インターンシップ等、建設界の役割や、仕事の魅力について、学生等に伝わるよう取り組んでいるところであるが、学生、生徒、児童、一般など、活動の対象毎に工夫すべき点など、異なるものとする。

各教育機関において、各機関・団体の活動に対し、より効果的に建設界の魅力や役割を学生等に伝えるために求める点等あればお教え頂きたい。

また、今年度の活動において、多くの活動で各機関・団体で連携して行われているが、連携する上での問題点や、より連携して行うべき活動があればご意見頂きたい。

議題

機関名・団体名：(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部

件名
「北陸建設界の担い手確保・育成協議会」として連携した広報活動について
要旨
各機関等において、PR 冊子、PR 動画等を作成し、様々な PR 活動を独自で展開しているのが実態です。 「北陸建設界」として、より効果のある広報活動を展開する観点から、次の連携した活動を提案したいと考えております。 1. 協議会事務局ホームページに、建設界の PR 冊子・動画の一括掲載について ・現在、協議会 HP には、構成機関の HP のアドレスが掲載されていることから、各機関の HP から製作された PR 冊子や動画を閲覧することができますが、協議会 HP 内において、建設業界の事業ごとに PR 冊子や動画を一堂に掲載することによって、建設事業全体について、より理解促進が図られるものと思料します。 ・各構成機関から、掲載を希望する PR 冊子や動画のデータや URL を協議会事務局へ報告し、協議会事務局で事業ごとに一括して掲載する方法が考えられます。 2. 協議会として、マスコミと連携したセミナーの開催について ・地元一般紙と連携し、企画時の広報から集客広報、更に、開催結果の広報までを委託し、高校生や大学生、保護者や学校の先生を対象とした「北陸建設界の仕事と魅力の紹介セミナー」(仮称)開催を提案したいと考えております。 ・セミナー開催に要する費用は、企画・実施・広報に係る費用を含め約 2～3 百万円が考えられます。(開催規模によっては支出費用を抑えることも可能) ・その費用については、協議会各機関で負担するものとします。 ・セミナー開催に際し、企業説明会も併せて開催し、参加企業からも応分の負担をしていただくことも考えられます。 3. 全国の大学生に対して協議会の取り組みを積極的情報発信することについて ・企業に人材と出会いを提供する情報サービス専門業者と提携し、日本全国の登録大学生の中から、北陸出身、北陸に就職を希望している大学生に対して、前述の協議会イベント等の紹介と併せて「建設界の魅力」などを当該学生に直接メール配信することを提案したいと考えております。 ・配信する費用としては、新潟県及び富山県・石川県内に該当する学生に対して 1 回配信するために約 40 万円が必要となります。 ・その費用については、協議会各機関で負担するものとします

各機関からの議題及び報告事項

【報告事項】

- 富山県測量設計業協会 P30
 - ・平成27年度「担い手確保・育成」関連事業
- 富山県 P31
 - ・平成27年度における担い手確保・育成に向けた取り組み状況について（報告）
- 北陸地方整備局・利賀ダム工事事務所 P32
 - ・平成27年度現場見学会アンケート結果について（学生の意識調査）

【提案議題】

- 北陸地方整備局・黒部河川事務所 P33
 - ・女性技術者の担い手確保の取り組み提案
 - 富山県部会が主催する「女性技術者と女子学生との意見交換会」の開催
- 北陸地方整備局・伏木富山港湾事務所 P34
 - ・移動に伴う費用の負担について

平成28年 3月24日

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会
(富山県部会)

議題及び報告事項（※自由様式）

協会名：富山県測量設計業協会

件名

平成 27 年度「担い手確保・育成」関連事業

1. 出前講座 平成 27 年 6 月 3 日（測量の日）

平成 12 年から「測量の日」の関連行事としてスタートし、国土地理院北陸地方測量部と協力し「地図教室」と「測量実習」を県内の小学校を対象に、「測量」への理解と「地図」への関心を高めるために実施している。

27 年度は高岡市立川原小学校の 5・6 年生を対象に開催した。

2. インフラツーリズム in 関電ルート 平成 27 年 7 月 22 日

27 年度新たな事業として、関西電力北陸支社のご協力を得て、さしあたり県内の土木系の高校生に先人の知恵と功績を実際に見てもらい、土木事業へ従事する動機付けとした。

参加学校 富山県立富山工業高校

富山県立桜井高校

3. インターンシップ

協会企業は以前から個別に大学生を対象にインターンシップは実施してきたが、委員会での会議の中で、土木系の高校生や県立大学などでも以前から実施しているとの事で、協会員に積極的に受け入れを広報した。

(1) 高校生 平成 27 年 7 月（夏休み期間）

協会が窓口となり、生徒の近隣の会員企業へ斡旋した。結果的に新規採用に結びついた企業もあった。

(2) 大学生 平成 27 年 9 月

受け入れ可能企業は、富山県インターンシップ協議会に登録し県立大学の学生を受け入れた。

4. 技術研修会 平成 27 年 11 月 10 日

協会では、会員の技術力の向上を図る目的で技術研修会を開催しており、26 年度からは富山県土木部に加え富山県立大学にも講師及び学生の聴講を依頼し、「官」「学」「産」と連携した取り組みを実施している。

※ 28 年度も同様のメニューで活動予定です。

議題及び報告事項（※自由様式）

富山県

件名 平成 27 年度における担い手確保・育成に向けた取り組み状況について（報告）
要旨 1）将来の建設業を担う人材の入職・定着・育成 →1、2 級土木施工管理技士の資格取得や除雪作業に必要な免許取得、トイレ改修などの労働環境改善に要する費用を助成 →資格取得支援講座（建築施工管理技術、土木施工管理技術検定）、新入社員向け研修、就職直前技能向上研修等、建設人材教育訓練を実施 2）建設企業が雇用できる環境づくり（公共事業や建設業のイメージアップ） 昨年度までは、情報を広く一般に発信するため、小冊子「とやまの土木」の配付や土木部 Facebook “いいね！とやまの土木” の開設等を実施したが、今年度は将来の担い手である子ども達や、進路に大きな影響力を与える保護者（特に母親）に対象を絞り込んで施策を実施。 →県政バス教室「富山どぼく発見！ツアー」や、現場見学会に加えて橋の模型製作を体験し、橋づくり技術の理解や面白さを通じて土木への関心を深めてもらう「親子ふれあい見学会」の開催 →建設業協会と共同・連携し、女性の視点で発掘した建設業の重要性や魅力を P R するためのパンフレットの作成

議題及び報告事項（※自由様式）

事務所名：利賀ダム工事事務所

件名 平成27年度現場見学会アンケート結果について（学生の意識調査）
要旨 アンケート回答いただいた学生の意見感想の一部報告 （効果があったと思われる回答） ➤ 去年は工事中の下島大橋を見学させてもらいました。まだ橋としてつながっていない上を見学させてもらいとても貴重な体験ができたことを覚えています。その橋は今回は、完成していて、去年と同じ場所なのに違った光景に感じました。一つの橋でも2つの光景がみえ、いろんな人の苦労を考えるとすごく感動しました。また <u>OBの方のお話もきけて、今すごく将来について悩んでいる私にとってすごく参考になりました。</u> ➤ 利賀ダムの建設現場を見学してとてもタメになることを多く聞いたり見たりしたのでとてもよかったです。このことは<u>自分がもしそのような場所で働くことを思うと、とても大変だと思うけどそれが自分のためになることだと思いました。</u> ➤ 利賀ダムの形など自分の知らなかったことを知ることができておもしろかった。また<u>あまり興味がなかったが今回の見学で建設現場を見学することができてよかった。少し興味がでてきた。</u> ➤ まず、建設現場の大きさに度肝を抜かれました。ダムを建設する事、橋を架ける事がこれほどまでに大きくすばらしい仕事である事を改めて知ることができました。三角トラスを使って作る橋は、<u>僕たちが日ごろからなにについての勉強をしているのかが分かり、今後の勉強をもっとがんばろうと思いました。</u>そして1番記憶に残っているのが500tを持ち上げることができるクレーンがあった現場でした。スケールの大きさを目の当たりにし、感動しました。これから架けると言われていた橋の構造はまだまだ分かりませんが、勉強していきたいと思いました。ありがとうございました。 ➤ 私は、環境都市工学科に入っていながら、そもそもダムというものが何をしているのかとか、ダムの重要性をあまり理解していませんでした。でも、今回の見学で、ダムにも色々種類があって、しかもとても大きいんだ、ということを知って、驚きました。国土交通省の方々がどういう仕事をしているのか、全く知らなかったし、<u>女性の方の話も、将来の事を考えるにあたってとても参考になりました。</u> （当方の改善が必要と考えられる回答） ➤ 難しい用語があり、理解できなかった所もあった。 ➤ 説明が聞こえにくかった。 ➤ いきなり質問があるか聞かれても難しい。 ➤ 働いている人の姿が見たかった。 ➤ 見学時間より、移動時間の方が長かった。

議題及び報告事項（※自由様式）

事務所名：黒部河川事務所

件名 女性技術者の担い手確保の取り組み提案
富山県部会が主催する「女性技術者と女子学生との意見交換会」の開催

要旨

当事務所では、昨年８月に女性の視点から見た建設業について、女性技術者と女子学生で対談を行ってもらい、女性の立場からの貴重な意見を聞くことができた。

富山河川国道事務所では、一昨年１２月に官民の女性技術による意見交換会を開催、昨年は小矢部川で女性技術者が設計・監督・施工について主導権をもって河川工事を行ったり、女子学生に主眼を置いたリクルート活動を実施している。また、富山県建設業協会では、一昨年１２月に女性技術者による座談会を開催している。

このように、機関毎に女性技術者の担い手確保・育成の取り組みを実施していることから、次のステップとして官学民が共同して「女性技術者と女子学生との意見交換会」を定期的に開催することについて富山県部会で検討して頂きたい。

開催にあたっては、単に意見交換を行うだけでなく、女子学生に興味を持ってもらうことや女性技術者間の情報交換の場とするため、女性技術者が働く現場の見学や女性技術者の体験談を話してもらうなど工夫することが大切である。また、１回限りで終わらせるのではなく、継続性のある取り組みとするべきである。

※各機関の取り組み内容：別紙参照

議題及び報告事項（※自由様式）

事務所名：伏木富山港湾事務所

件名

移動に伴う費用の負担について

要旨

現場視察時の生徒の移動に伴う「バス」の費用負担について、建設業協会が絡んでいると費用が出るが、それ以外であっても「担い手」関連として費用負担できないか。

.

各機関からの報告事項及び提案議題

【報告事項】

○金沢大学 ・特別講演会及び初学者現場見学会	P36～39
○金沢工業大学 ・就職先内定状況	P40
○石川県立小松工業高校 ・中長期的な担い手確保のための魅力的な発信方法について ・県内の工業高校の離職率の分析について	P41～46
○金沢河川国道事務所 ○普通科高等学校、教員を対象にした、現場見学会の感想文	P47～50

【議 題】

○金沢工業大学 ・人口戦略(建設系大学や高専への入学者)の充実	P51
○石川県立小松工業高校 ・学校と行政機関・建設団体のより一層の連携強化について	P52
○石川県教育員会 ・今年度の取り組みに対する結果分析について	P53

平成28年 3月24日

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会
(石川県部会)

報 告 事 項

機関名・団体名：金沢大学

件名
特別講演会

要旨

就職活動を目前にした３年生にはとても好評なので、実施に際して、さらに時間枠拡大，挙手によるプレゼンターからの問いかけなど，双方向のやりとりなど，さまざまな工夫が考えられる．学生さん達からの感想も参考にしながらさらに充実をはかりたい．

件名

初学者現場見学会

要旨

1年生と対象とした日帰りの現場見学で、参加した学生さん達からは好評を得ている（氷見でも昼食付も功を奏している模様）。
今後ともご協力いただき、継続的に実施したい。

.

(一社)日本建設業連合会北陸支部
広報委員会
委員長 橋本 成輝
(委員:永田、垣内)

このたび、日本建設業連合会北陸支部では、金沢大学理工研究域 環境デザイン学系の1年生の皆様を対象に、建設現場の状況を目で見て、感じていただき、建設業への関心や理解を深めて頂ければと思い、現場見学会を開催することといたしました。

つきましては、以下の日程で開催したいと思いますので、ご参加頂きたくご案内申し上げます。

記

開催日：平成27年9月29日(火)【雨天決行】

集合時間：午前9:00 解散予定時間:午後3:30頃

定員20名

集合場所：金沢大学自然研前バス停

見学場所：①北陸電力(株) 富山新港火力発電所 LNG1号機建設工事
※LNGバース、タンク、取・放水路等の建設状況を見学予定

②新湊大橋

※国土交通省 北陸地方整備局 伏木富山港湾事務所殿のご案内で、エレベータに乗り、上部工歩道部を見学予定



※1)当日は、汚れても良い服装、履きなれた靴でご参加ください。

※2)安全上、長袖、長ズボンでのご参加をお願いします。

※3)昼食は、事務局にて準備します。

準備の都合上、参加ご希望の方は、9月24日(木)までにアカンサスポータル「環境デザイン基礎演習のアンケートから申し込みを完了ください。先着順で参加者を決定します。質問事項がありましたら、斎藤先生(saitoh@se.kanazawa-u.ac.jp)まで遠慮なく問い合わせください。尚、申込みに際して、名列番号と氏名、当日連絡の取れる連絡先(携帯番号)を連絡願います。

※日建連担当者の連絡先：永田(090-5687-7693)、垣内(080-1202-7950)

日建連北陸支部 現場見学会行程表
平成 27 年 9 月 29 日(火)開催

09:00 金沢大学 自然研前バス停 出発

10:00 北陸電力(株) 富山新港火力発電所 着
富山県射水市堀江千石1(TEL:0766-86-4298)

工事概要及び工事現場見学

12:00 現地 発

12:10 昼食(新湊きときと市場)
富山県射水市 海王町 1(TEL:0766-84-1233)

12:55 現地 発

13:00 国土交通省 北陸地方整備局 伏木富山港湾事務所 新湊事務所 着
富山県射水市堀岡新明神西浜 205-150(TEL:0766-84-4106)

新湊大橋概要説明

13:30 事務所 発

新湊大橋 上部工歩道部 現場見学

14:30 現地 発

15:30 金沢大学 着

報 告 事 項

機関名・団体名：金沢工大 環境土木工学科

件名

金沢工大環境土木工学科平成27年度大学院2年生および4年生の就職先内定状況

要旨

- ・大学院2年生（7名）：公務員2名、JR1名、建設会社3名、建設コンサルタント1名
 - ・大学4年生（53名）：進学5名、公務員および社団法人3名、JR8名、建設会社・道路会社31名、建設コンサルタント6名、
 - ・内定先のほとんどはすべて建設界。本人たちの希望と就職先の方針が一致することを強く望む。数は明らかになっていないが、個別に聞けば（把握している限りで）平成26年度卒業生は1年目の転職、転業が2、3人いる。
- ・大学にとって極めて不本意なことは「入学シーズン（1月、2月）に談合問題」が報道されることである。この報道によって入学希望者が一挙に減少する。今の子供たちの進学、就職先はその両親や中学高校の先生方の意見が強く反映される。この談合問題報道が一般の家庭や中学高校にとって、建設界全体の強いマイナスイメージを植え付ける。ほぼ、毎年、入学シーズンに談合問題が報道され、建設界の担い手の確保や育成を大きく阻害している実状を自覚すべき。公共（税金）の矜持をきちんと持たなければならないのだが（学長は「大変な迷惑」と強調）。

報 告 事 項

機関名：石川県立小松工業高等学校

中長期的な担い手確保のための魅力の発信方法について。

1. 工業高校生に対する定期的な建設業に関わる刺激

(現場に触れる機会・・・現場見学 意見交換会)

2. 小・中学生に対する刺激

(高校進学先としての魅力)

背景 1

・建設業に関する意識は依然「3K」と言われたころの意識を持っているように思われる。昨年度の進路担当者の話によると、生徒自身が建設業を進路先に臨んでも、保護者が進路変更を望むケースがあった。本年度は3年生を対象に早くから進路選択の主として建設業を考えるように指導するとともに建設業の魅力・仕事のやりがい・他業種との違いなどを各授業で話をして、早めに保護者との進路についての話し合いを持つように促した。結果今年度11名から21名と増加した。

・2年生については、9月に実施した意識調査(県土木課依頼)で仕事の内容が知りたい(意識調査 問9)という意見が多かった。仕事の内容がイメージできないので、建設業への進路を決められない生徒が多くいた。そこで、現場見学やインターンシップへ赴く際の心構え、現場での見どころ、現場見学会に際しては現場担当者との打ち合わせを行うことで、生徒に理解しやすい見学会を行っていただいた。(国土交通省北陸地方整備局12/8実施)生徒は活発に質問し、自分の将来の姿として捉えているように感じた。見学会後のアンケート結果を見ると、職業意識の改善がみられ、建築土木技術者を挙げる生徒が増えた。

・1年生については建設フェアに参加させていただいた。アンケート結果(平成27年度けんせつフェア北陸in金沢2015)を見ても、多くの生徒が今後の進路を考える上で参考になった、建設業・企業・仕事内容について知ることができたと回答しており、自分たちの学びについての具体例をみるとともに、進むべき道を定義づけることができた。

背景 2

・小さい頃はおもちゃとしてスポーツカーより建設機械を選択する子が多いように感じる。その違いは自ら積極的に遊ぶ手段が道具に備わっていることにありとされる。また、建設現場は工場と違い地域で見ることがある。しかしながら最近はシートで囲み、中の様子がわからないようになっているとともに、作業服等が悪いイメージで定着しているように思われる。そこを対象にイメージアップを図るとともに仕事の内容や進路先を具体的に(建設業を選択するなら工業高校へ)に提示することで、長期的な人材開拓ができるのではないかと。

- ・ 県内の工業高校の離職率の分析について。（報告事項）

近年の進路状況について（過去５年間）

表１．進路状況（過去５年分、27年は、12月28日現在の値）

	就職		進学		公務員 等	合計	建築土木系
	就職計	建築土木系	進学 計	建築土木系			就職進学合計
平成２３年	21	9	18	6	0	39	15
%	53.8	23.1	46.2	15.4	0.0		38.5
平成２４年	22	7	12	3	3	37	10
%	59.5	18.9	32.4	8.1	8.1		27.0
平成２５年	30	17	6	1	0	36	18
%	83.3	47.2	16.7	2.8	0.0		50.0
平成２６年	27	11	9	4	0	36	15
%	75.0	30.6	25.0	11.1	0.0		41.7
平成２７年	31	21	7	3	1	39	24
%	79.5	67.7	17.9	42.9	2.6		61.5

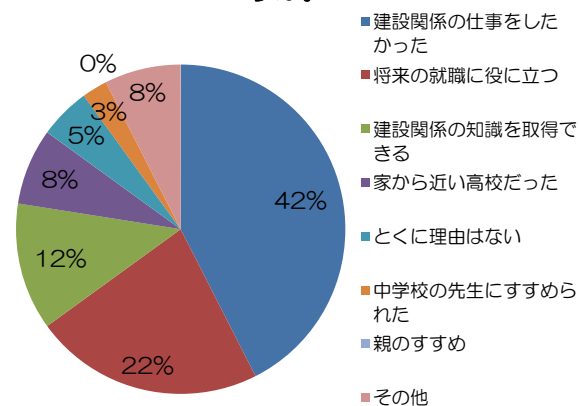
表２．離職率の内訳（過去４年分） 27年６月調査

	就職計	離職数	離職率	建設系就職	離職数	離職率
平成２３年	21	5	24%	9	4	44%
平成２４年	22	2	9%	7	2	29%
平成２５年	30	1	3%	17	0	0%
平成２６年	27	0	0%	11	0	0%

離職率の分析

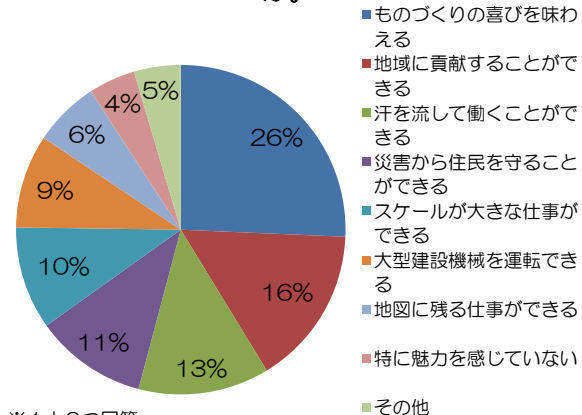
・ 建築土木系の就職人数の伸びと離職率の低下が見られる。生徒の職業意識の変化と、仕事に関するやりがい、使命感が変化してきたものと考えられる。さらに就職人数を増やすため、現場見学、インターンシップ、意見交換会等で建設業の魅力ややりがいを感じ、自分の仕事としてとらえられるようにしたい。離職率を抑えるため、学校生活において目標意識を持つ、タフな人材の育成を行いたい。

問１ 今の高校に進学した理由は何ですか。



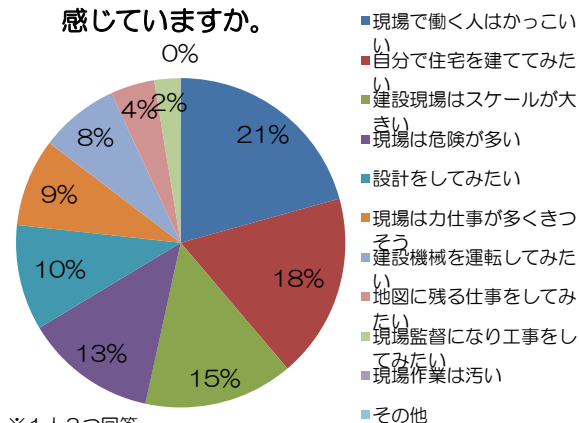
※1人1つ回答。

問２ 建設業の魅力は何だと思いますか。



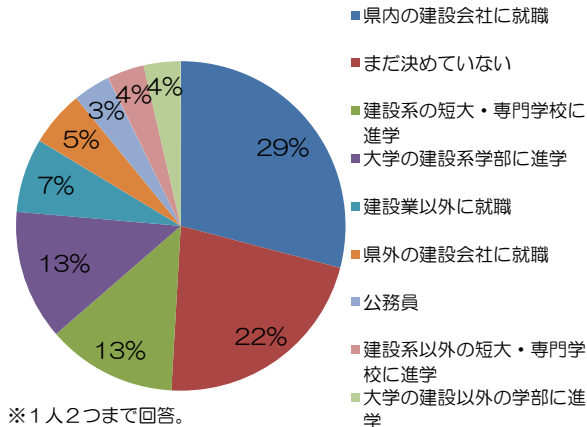
※1人3つ回答。

問３ 普段の生活の中や現場見学会等で建設現場を実際に見てどんなことを感じていますか。



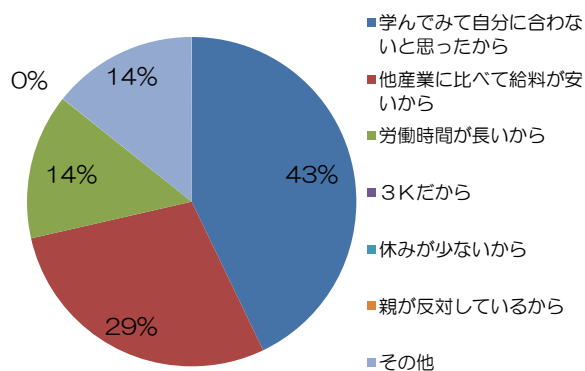
※1人3つ回答。

問４ 卒業後の進路（就職・進学）について今の気持ちを教えてください。



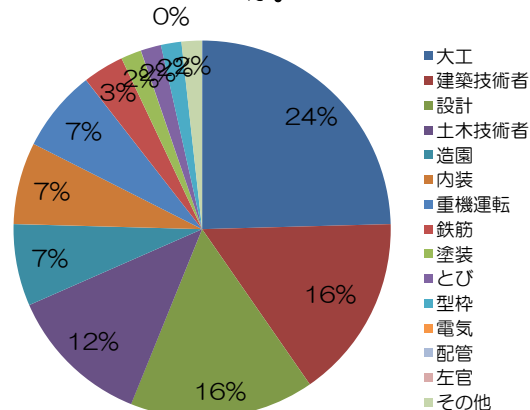
※1人2つまで回答。

問５ 建設業に就職したくない理由を教えてください。



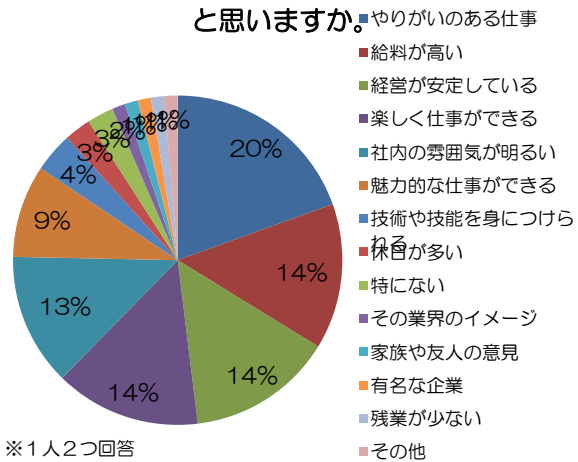
※問４で建設以外と回答した生徒（7名）のみ。複数回答可。

問６ どんな職種に興味がありますか。

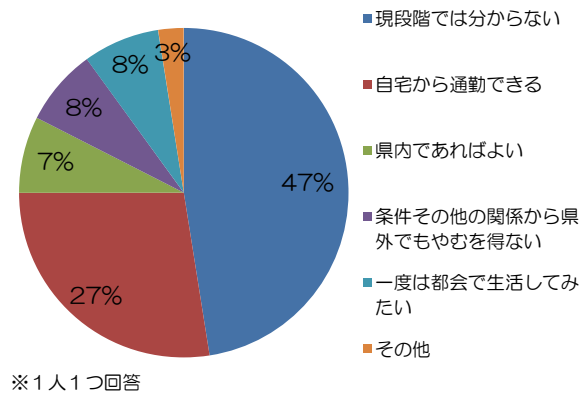


※問４で建設と回答した生徒（26名）のみ。複数回答可。

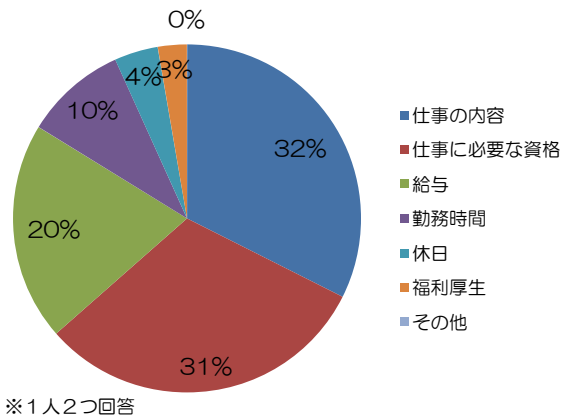
問7 就職先を決める上で何が重要だと思いますか。



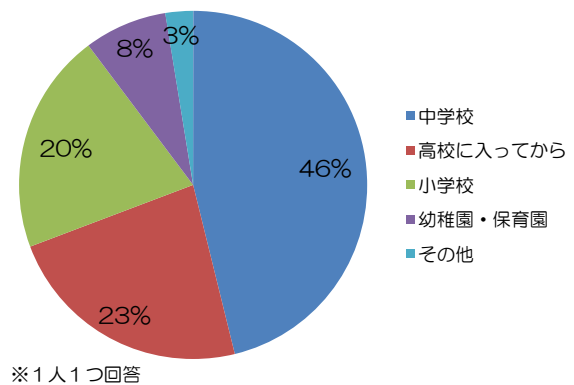
問8 就職先（地）についての希望はありますか。



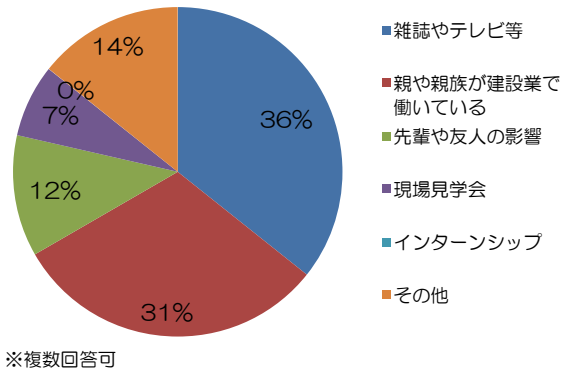
問9 建設業について知りたい情報は何か。



問10 建設業に興味を持った時期はいつですか。



問11 建設業に興味を持ったきっかけは何ですか。



平成 27 年度けんせつフェア北陸 i n 金沢 2015 に関するアンケート結果

1 パネルディスカッション

・内容についての満足度

満足 19

自分のためになった・参考になった・分かりやすかった 6

実際に仕事をしている人（女性）から、色々な話を聞くことができた 7

女性の働きやすい社会についてわかった 2

女性が建設業でどう働いているか、仕事について分かったので良かった

女性の意見を聞くことで安心して働くことができそうだった

苦労や失敗談など、自分にも起こり得ることなので参考になった

自分たちの質問に、きちんと答えてくれたから

おおむね満足 16

自分のためになった・役に立つことが聞けたから・分かりやすかった 9

女性の仕事内容、仕事に就く大変さが分かった 3

建設業に携わる女性から話が聞けたから

女性が働く場面を知ることができ、女性に頑張ってもらいたいと思った

働く上で大切なことが分かった

話をしている人が見えず、何を話しているか分からなかった

やや不満 3

女性中心の話だったので、あまり興味が持てなかった

不満 0

2 合同企業セミナー

・内容についての満足度

満足 18

自分のためになった・分かりやすかった・勉強になった 8

色々な企業について知ることができたから 6

進路、将来について考えることができた 2

建設機械を色々体験できて良かった

自分の考えが古いことが分かった

おおむね満足 17

自分のためになった・役に立つことが聞けたから・分かりやすかった 9

企業や仕事内容について知ることができた 4

より建設業に興味を持つことができた

興味をもてるブースがあった

スクリーンがあって分かりやすかったが声が遠くまで届いていない時があった

周りの企業と近くて、話が混ざり分からなくなった

やや不満 3

声が小さくて聞こえづらかった

不満 0

・企業の説明を受けた感想

今後の進路を考える上で参考になった 35

建設業に興味を持った 14

建設業はやりがいがありそうだ 14

説明がわかりやすかった 13

時間が長かった 2

その他（時間がちょうどよかった）

あまり参考にならなかった 1

建設業に興味を持てなかった 2

建設業はやりがいがないさそうだ 1

説明がわかりにくかった 3

時間が短かった 2

3 一番ためになったと思うこと

建設業・企業・仕事内容について知ることができた 14

女性が建設業で働くことについて知ることができた（パネルディスカッション） 9

自分の将来、進路の参考になった 8

地震の怖さを知った 3

どのようなものを造っているか、どのように造っているかを知ることができた 2

相手を思った建物を造りたいと思った

お客様は神様

報 告 事 項

機関名：金沢河川国道事務所

件名

普通科等高校（七尾東雲高校・小松大谷高校）教員を対象にした現場見学会感想文

要旨

能越自動車道 輪島道路建設現場 見学感想

石川県立七尾東雲高等学校 教諭 見学者 5 名

教諭 A

私の勤務する高校では卒業生の大半が就職する。高校を卒業して就職するということはどういうことかについてわからないまま日々の生徒の指導にあたっていた。しかし、この度本校の生徒の就職先のひとつである建設関係の仕事を見学させていただき、学校内では学べないことを学ばせていただいた。建設現場の方のお話では、建設を進めるにあたり、完成予定日を決めずに国土交通省との連携との関係で見通しをもって弊害を出さないように慎重に建設を進めていることを学んだ。現場で働いている方に会って聞かなければわからないことを学ぶために現場に赴く大切さを学ぶことができた。また、道路建設では建設以外にも文化財の埋蔵調査をして進めていることを知った。普段何気なく車で通っている道路を建設するために何十人何百人もの方が関わっていることを身をもって知り、社会に出て様々な人と関わることができる力を育てる大切さを感じた。現場の方が建設現場での話を熱く語られる様子から仕事に対する誇りを感じた。高校生が誇りを持った仕事をみつけられるようサポートするためにも教員自ら学校外にもアンテナを張り情報収集を行うことが大切だと強く思った。そして、生徒自身にもアンテナを張ることの大切さを伝えていかなければならないと強く感じた。普段の授業からクラスや学年を超えてさまざまな生徒同士での関わりを持たせ人と関わる力を育てていきたいと思う。校務分掌や教材研究や授業をするだけでなく、日頃から常にアンテナを張り、学校外に目を向けていきたいと強く思う。

教諭 B

これまで建設現場に赴くことはなく、業界の方とお話する機会も無かったが今回の機会を得て、本校卒業生が2つの建設会社に就職した場合、どのような仕事を知ることができた。学校では資格取得を推進しているが、就職後はなおさら資格を取得しなければ仕事にならないことがわかった。また現場ではどの方も大きい声ではっきり話をされており、生徒には大きい声でしっかりと話させることが大切であると改めて思った。現場での安全対策を見ることができたのがいい体験になった。国交省の方からは工事完成までの流れや北陸新幹線開通後の建設業界の状況を聞くことができた。今回の経験は、生徒の就職指導だけでなく、日々の教育活動にも活かせる点があった。

教諭 C

先日、輪島道路の工事現場を見学させていただいた。電子機械科や総合経営学科農業コースのある本校からも多くの卒業生が土木や建設の道を選んでいるが、本校に勤務している私自身としては土木に関する知識は今まで一切なかった。土木建築といえば工事現場で重機を操作する作業員さんのイメージしかなかったのだが、実際に道路を作っている現場を見学させていただくと、意外な発見や新しく知ることの連続だった。

特に、大きな道路の建設では完成予定日をぎりぎりまで発表しないというお話が大変印象的であった。道路の完成には緻密で正確な測量や設計が求められる。調査や設計の段階で何か一つでも不備があったり、検討しなす必要性が出てくれば、再度じっくり時間をかけて計画を練り直さなければならない。多くの人が利用する道路の建設は、期限を守るためだけの煩雑な仕事よりも、じっくりと時間をかけた安心・安全な仕事が求められる。最近の特例としては、新幹線の開通に合わせて期限を設けなければならなかった能越道工事が挙げられるが、基本的には期限なしで工事に取り組んでいるようだ。自分は完成した道路を利用するだけの人間だったので、恥ずかしい限りだがこれまで「長い期間工事をしているのに、まだ道路が完成しないのか。いつまで作業をしているのか」などと感じていたこともあった。しかし、今回の説明を受けて、自分の考えが浅薄なものだったことを知り、加えて真摯に丁寧に仕事に挑んでいる作業員の皆さんの姿に心を打たれた。そして、果たして自分はじっくり時間をかけた仕事（特に、教材研究や授業準備）ができているのかと、身を引き締める思いでもあった。

また、今回の現場見学では、自分の無知を省みることもできた。自分はこれまで、重機関連の資格を取得している電子機械科の生徒ばかりが土木建設の業界に進んでいくのかと考えていたのだが、お話を伺っていくと、総合経営学科の生徒も多く土木建築に携わっているのだということが分かった。また、工事の現場には、実際に道路建設作業を行う作業員の他に、埋蔵文化財の調査を行っている人々もいた。町を歩けば多種多様の職業人に出会う日々を過ごしているが、その仕事や働いている人々に対して自分の知っていること・わかっていることは圧倒的に少ない。自分の知識や理解、ひいては知ろうとする態度が浅すぎるのである。本校で進路指導をしていくには、職種や仕事の専門性に関する知識は必ず持っていなければならない。また、生徒からなにか質問があった場合にも、質問内容を全て教師が解決する必要はないにしても、疑問を解決に至らせるために取るべき手立てを提示してやる必要がある。そのためにも、教師の側がしっかりと正しい知識と理解を持って進路指導に当たることが求められるのである。

ほんの3時間ほどの見学ではあったが、感じること、学び得ることの多い研修であった。これからはより一層様々な世界に広くアンテナを向け、生徒のため、また自分のために、どうすることが必要か、どんな知識を持っているべきか、ということについて改めて考え直していかなければならないと感じた。

教諭 D

初めて道路建設の現場を拝見させていただいた。これまで進路指導担当者として、建設会社の方々、県の土木部監理課、さらには本校卒業生で建設会社で働くOBなどから、様々な声を聞くことがあったが、実際の建設現場を、間近に見たのは初めてでした。数キロメートルの道路建設が、長い年月と費用を要することは頭ではわかっている、実施に目の当たりにすることでそれを実感することができた。

道中、国交省の吉村氏から、さまざまなお話を伺えたことも興味深かった。行政に携わる立場からの視点も新鮮であった。生徒自身が、高校三年間の中で、職業観を醸成していく中で、今回のような現場をみることで、

仕事の選択肢の一つにあげる生徒も出てくるであろう。さらには、PTA などの保護者にも、見学の機会がでてくれば、理解も進むのではないかと思った。

本校卒業生が、実際に働いている現場を見、後輩の在校生にその仕事の魅力ややりがいを語ってもらえるなら、効果的な行事になっていくのではないかと思う。

教諭 E

今回の現場見学で、大きく 2 つ学んだことがあります。

1 つ目は工事現場の仕事に対する偏見の変化です。私は工事現場の仕事というと、重いものを運んだり、ドリルを使ったりと肉体を疲労するまで使ってたただひたすらに同じような作業をくり返す仕事だと考えていました。しかし、現場では工事の監督をする人、重機を用いる人、組み立てる人がいて、それぞれ協力しながら作業を行っていました。また、現場で働く人たちの、道路が完成して、能登を活気あふれる地域にしていきたい、たくさん安心して使ってもらいたいという熱い思いが伝わってきて、夢あふれるすばらしい仕事だと感じました。

2 つ目は私自身職に対する理解が薄いことに気づいたことです。1 つ目と被るのですが、私は今回の現場見学がないと、工事現場の仕事について知らないままでした。このことは非常に怖いことだと思いました。仕事についてよく知らないまま、生徒に聞かれて自分の偏見を伝えてしまいかねないですし、聞かれても分からないと生徒に詳しく話せないで、教員でありながら、生徒の進路選択に何も役立てない人になってしまう危険性を感じました。現場見学を重ねて、様々な仕事についての知識を身につけることの必要性を感じることができた良い体験でした。

土木現場案内に参加して

先日は吉村様、中山様にはお忙しい中にもかかわらず現場をご案内いただき、誠にありがとうございました。

日頃通っている道なのに、景色に紛れて気付かなかった工事現場をじっくり見学させていただき、改めて色々なことを知ることが出来ました。最初に行った白江大橋付近の現場では、石灰と土を混ぜる最新の機械で、土の粘度や固さを最適のものに調整してから盛っているということを初めて知りました。

小松新橋付近の現場では、同じように見える建設機械でも、2Dマシンガイダンス技術を用いて操作者の技量の差がでないように工夫されていました。人手不足が深刻な業界の実状もあっての情報化施工だそうです、熟練の技の習得・伝承も欠かせない課題だと思いました。

小松天満宮の分水路工事では、重要文化財の保存と治水対策を両立できるように小松市や関係省庁が長年協議して現在の計画になったとのことでした。完成したら、新たな名所として、百年、二百年後、更にその先へと残って欲しいものです。

最後に訪問させていただいた前川排水機場・梯川逆水門では、蛇行していた旧梯川の本流を現在の前川にしたということを知りました。平地を流れる川なので洪水時には自然排水が出来ないため、古くから度重なる水害に遭ってきたこの地域を守るために色々な改善がなされてきたそうです。逆水門に排水機場を併設することで木場潟の水位まで管理して洪水を防いでいるというのは驚きでした。

大いなる自然の力に対して、時として人間は無力です。しかし、その時代、時代における最新の科学技術を用いて、我々の命と財産を守るのが土木・建設にたずさわるものの使命なのでしょう。私たち教育者も志を持った若者の育成に精進していこうと決意を新たにいたしました。今回は貴重な見学をさせていただき、本当にありがとうございました。

平成 27 年 12 月 1 日

小松大谷高等学校

議 題

機関名・団体名：金沢工大 環境土木工学科

件名

入口戦略（建設系大学や高専への入学者数）の充実

要旨

・大学側要望（金沢工大学長意見）として、建設界担い手人材確保・育成に関しては、その多くは大学生、高校生を建設界へ就職させる、いわば、出口戦略に主眼をおいた取組みが多いようだ。一方で、入口（大学建設系・高校建設系入学）戦略が不可欠となる。現在、本学教員などが高校に出前講義などを行っているものの、入口（入学）を促す（インセンティブな）効果的なメニューが実施できていない現状にある。高校と大学、さらには建設界が一体となって人材確保・育成に向けた取り組みメニューをぜひ考えたい。知恵や好例をお教え頂きたいのだが。

・建設界へ「きっかけ」→「興味」→「本気」へと到達する各種効果的な取組みメニューを整理し、具体策を考えて行かなければならない。例えば、大学や高専への入口戦略として卒業研究発表に高校生や中学生が参加することは可能か。建設系の大学生や高専生が具体的にどんなことをやっているのか、どんなすばらしいことをやっていることを積極的に発信できないか。

議 題

機関名・団体名：石川県立小松工業高校

- ・学校と行政機関・建設団体のより一層の連携強化について。(議題)

- ・27年度の取り組み

- ・現場見学 7月

1年全員 協力 一般社団法人石川県建設業協会

石川県金沢市 二ツ寺 町 二ツ寺橋 加賀市統合総合病院

2年全員 協力 国土交通省北陸地方整備局

金沢市城北運動公園プール 石川県金沢市 二ツ寺 町 二ツ寺橋

3年全員 協力 石川県建築士会小松能美支部

城端別院善徳寺 今江地区供用施設

- ・インターンシップ 3日間 (10月)

2年 全員 小松能美建設業協会・加賀建設業協会

- ・デュアルシステム 5-8日間 (5月から7月)

3年 3社6名 株式会社江口組 株式会社丸西組 株式会社吉光組

- ・建設業協会との意見交換会 2月

2年全員 協力 小松能美建設業協会

例年は、建設業協会の方々と生徒が向き合って座り、建設業の説明、質疑応答等を行っていたが、かしこまった場の雰囲気慣れない生徒はなかなか質問等を積極的にできない傾向があった。そこで、今年度は事前に建設業協会の担当者と打合せを行い、少人数のグループに分かれて、建設業に携わる若手技術者を囲ってのディスカッションを行うことにした。若手技術者は生徒にアンケートを行った結果から、現場監督(女性含む)、建機オペレーター、技術職をお願いしている。気軽に質問ができ、建設業の魅力が生徒により伝わる有意義な会になればと思う。

- ・資格取得

協力 石川県建設業協会

小型式移動クレーン・玉掛けの資格取得を目的とし、例年2月に就職内定者を対象にした富士教育訓練センター(静岡県)派遣事業を実施している。今年度は7泊8日の日程で行い、生徒の技能、意識の向上に努めたい。

- ・運転技能講習(案)

協力 コマツ教習所 栗津センター

例年は8月の夏季休業中に希望者(3年)が建機運転技能講習を受けていたが、建設業に携わる上での仕事内容や作業を知る上で1年生又は2年生でセンターを体験見学させてもらい、職業意識の向上を目指したい。

議 題

機関名：石川県教育委員会

件名

今年度の取り組みに対する結果分析について

要旨

高校生においては、現時点で、ほとんどの就職希望者の就職先や進学希望者の進学希望先は決定していると考えられる。そこで、貴協議会が今年度実施した取り組みが、建設界の担い手確保・育成につながったかの分析を、アンケート等を実施し、第2回石川県部会で協議し、次年度の取り組みに活かす。

.

平成27年度 富山県インターンシップ実施結果

12月21日現在

就業体験学生数（学校別）

943 名 { 県内 731 県外 212 (昨年848名)	大学	655 名
	短期大学	113 名
	高等専門学校	175 名
	職業能力開発大学校	0 名

県内：県内学校在籍学生数
県外：県外学校在籍学生数

就業体験学生数（企業・団体別）

943 名 { 県内 812 県外 131	企業	743 名
	(内 県内 628 県外 115)	
	公共機関	200 名
	(内 県内 184 県外 16)	

県内：県内企業・団体で実習した学生数
県外：県外企業・団体で実習した学生数

マッチング状況 申込企業・団体マッチング率 $(B \div A) = 82.8\%$

参加申込数 (A)			
335 社 { 県内 230 県外 105	企業	290 社	
	(内 県内 200 県外 90)		
	公共機関	45 団体	
	(内 県内 30 県外 15)		

受入実施数 (B)			
278 社 { 県内 179 県外 99 (昨年257社)	企業	234 社	
	(内 県内 150 県外 84)		
	公共機関	44 団体	
	(内 県内 29 県外 15)		

学生の実施状況

学校数		県内	県外
97 校 { 県内 7 県外 90 (昨年県外学校56校)	大学	4 校	85 校
	短期大学	1 校	3 校
	高等専門学校	2 校	2 校
	職業能力開発大学校	0 校	0 校

学生数		県内	県外
943 名 { 県内 731 県外 212 (昨年県外学生132名)	大学	452 名	203 名
	短期大学	107 名	6 名
	高等専門学校	172 名	3 名
	職業能力開発大学校	0 名	0 名

参加企業別大学一覧

No	企業・団体名	県内											県外	合計
		受入 予定	決定	残	富大	県立	富国	高法	富短	高専 本郷	高専 射水	計	計	
1	株式会社アーキジオ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
2	アイ・ケイ・ケイ株式会社 キヤナルサイドララシヤンス	0	17	0	8	0	1	0	2	0	1	12	5	17
3	株式会社アイザック	2	5	0	2	1	0	0	0	0	0	3	2	5
4	アイシン軽金属株式会社	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	2
5	アイシン新和株式会社	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1
6	アイティオ株式会社	2	2	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	2
7	株式会社アイベック	0	4	0	0	2	0	0	1	0	0	3	1	4
8	朝野工業株式会社	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	朝日印刷株式会社	2	5	0	1	2	1	0	0	1	0	5	0	5
10	朝日建設株式会社	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	朝日町役場	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	2
12	アステラスファーマテック株式会社 富山技術センター	3	3	0	1	1	0	0	0	1	0	3	0	3
13	アステラスファーマテック株式会社 高岡工場	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	安達建設株式会社	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	アルコット株式会社	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16	アルビス株式会社	5	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
17	株式会社あんしんグループ	2	4	0	1	0	0	0	2	0	0	3	1	4
18	株式会社石金精機	0	3	0	0	0	2	0	0	1	0	3	0	3
19	一宮運輸株式会社北陸支店	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20	射水ケーブルネットワーク株式会社	4	4	0	1	1	1	0	1	0	0	4	0	4
21	(公財)射水市絵本文化振興財団(射水市大島絵本館)	15	19	0	6	5	0	0	3	0	1	15	4	19
22	射水市中央図書館	5	8	0	2	2	0	0	1	0	0	5	3	8
23	射水市役所	2	4	0	1	1	0	1	0	0	0	3	1	4
24	株式会社インテック	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4
25	魚津市役所	2	2	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	2
26	株式会社エイ・テック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27	Ation One合同会社	10	2	8	0	2	0	0	0	0	0	2	0	2
28	株式会社ホライズン・ホテルズ 富山ホテル事業所 ANAクラウンプラザホテル富山	0	9	0	4	0	1	0	3	0	0	8	1	9
29	株式会社エムダイヤ	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1
30	オーアイ工業株式会社	0	4	0	1	0	0	0	1	0	1	3	1	4
31	株式会社大阪屋ショップ	20	3	17	2	0	0	0	0	0	0	2	1	3
32	大高建設株式会社	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
33	株式会社大谷工業 富山工場	3	2	1	0	2	0	0	0	0	0	2	0	2
34	株式会社御菓蔵	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1
35	株式会社岡部	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
36	岡本工業株式会社	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
37	小矢部市役所	0	3	0	1	0	0	0	1	0	0	2	1	3
38	株式会社オレンジマート	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1
39	株式会社開進堂	3	1	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1
40	社会福祉法人 海望福祉会	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
41	株式会社柿本商会 富山支店	6	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

No	企業・団体名				県内								県外	合計
		受入 予定	決定	残	富大	県立	富国	高法	富短	高専 本郷	高専 射水	計	計	
42	株式会社カターレ富山	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
43	川田工業株式会社	5	2	3	0	2	0	0	0	0	0	2	0	2
44	公益財団法人環日本海環境協力センター	3	5	0	1	0	0	0	2	0	1	4	1	5
45	株式会社北日本新聞社	10	17	0	9	1	2	1	1	0	1	15	2	17
46	北日本地質株式会社	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
47	有限会社北山ナーセリー	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1
48	共栄興業株式会社	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
49	協伸静塗株式会社	0	4	0	1	1	0	0	0	2	0	4	0	4
50	協和紙工業株式会社	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
51	協和マシン株式会社	10	3	7	0	3	0	0	0	0	0	3	0	3
52	クラシエ製薬株式会社 高岡工場	2	12	0	2	0	0	1	2	5	1	11	1	12
53	グロフィールド株式会社	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1
54	黒部エムテック株式会社	4	2	2	0	0	0	0	0	0	1	1	1	2
55	黒部市役所	0	7	0	4	0	1	0	0	0	1	6	1	7
56	黒部市役所(黒部市吉田科学館)	0	3	0	0	0	0	0	3	0	0	3	0	3
57	グンゼスポーツ株式会社 富山店	0	2	0	1	0	0	0	1	0	0	2	0	2
58	株式会社ケイエステック	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1
59	株式会社ケイエスビー・イー	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
60	株式会社K-DIC	0	2	0	0	1	0	0	0	1	0	2	0	2
61	株式会社KEC	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
62	株式会社廣貫堂	4	4	0	1	1	0	0	0	0	0	2	2	4
63	株式会社コージン	2	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1
64	コーセル株式会社	5	1	4	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1
65	NPO法人親と教員の会 こどものその	9	3	6	0	2	0	0	0	0	0	2	1	3
66	コマツキャステックス株式会社	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
67	酒井建設株式会社	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
68	笹嶋工業株式会社	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
69	株式会社サンエツ	2	2	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	2
70	三協立山株式会社	5	6	0	2	1	0	0	0	2	0	5	1	6
71	三光合成株式会社	6	2	4	0	1	0	0	0	1	0	2	0	2
72	三芝硝材株式会社	3	3	0	0	2	0	0	0	1	0	3	0	3
73	株式会社三楽園	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
74	株式会社JTB中部 富山支店	0	3	0	0	0	0	0	3	0	0	3	0	3
75	株式会社ジェック経営コンサルタント	5	6	0	1	0	0	1	1	0	2	5	1	6
76	ジャパンメディック株式会社	4	3	1	1	1	0	0	0	1	0	3	0	3
77	自由民主党富山県支部連合会	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1
78	株式会社上智	10	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
79	昭和建設株式会社	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
80	株式会社シンコー	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1
81	株式会社新日本コンサルタント	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1
82	伸和工業株式会社	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
83	有限会社ステップアップ	3	1	2	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1
84	株式会社メガスポーツ スポーツオーソリティ高岡店	4	9	0	3	2	0	1	2	0	0	8	1	9

No	企業・団体名	県内											県外	合計
		受入 予定	決定	残	富大	県立	富国	高法	富短	高専 本郷	高専 射水	計	計	
85	住澤塗装工業株式会社	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
86	株式会社スリー・ティ	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	2
87	有限会社西部トラベル	0	4	0	3	0	0	0	0	0	0	3	1	4
88	ゼビオ株式会社 スーパースポーツゼビオ富山蜷川店	2	3	0	2	0	0	0	1	0	0	3	0	3
89	全日本空輸株式会社 富山空港所	0	10	0	3	0	1	0	2	0	1	7	3	10
90	第一交易株式会社	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
91	大建工業株式会社	0	3	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	3
92	ダイチ株式会社	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
93	ダイト株式会社	3	4	0	1	0	0	0	0	3	0	4	0	4
94	大平洋製鋼株式会社	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1
95	ダイヤテックス株式会社	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
96	大和薬品工業株式会社	2	5	0	0	1	0	0	0	0	0	1	4	5
97	高岡市消防本部	30	8	22	3	2	0	0	0	0	0	5	3	8
98	高岡市役所	10	17	0	2	2	0	2	2	0	2	10	7	17
99	高岡市役所(高岡市中央図書館)	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	2
100	タカノギケン株式会社	2	4	0	0	2	0	0	0	2	0	4	0	4
101	タカノグループ(タカノホーム株式会社)	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
102	武内プレス工業株式会社	3	1	2	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1
103	株式会社竹原工務店	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
104	館下コンサルタンツ株式会社	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
105	立山化成株式会社	2	2	0	0	1	0	0	0	1	0	2	0	2
106	立山酒造株式会社	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1
107	立山電化工業株式会社	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	2
108	立山町役場(立山図書館)	4	3	1	0	0	0	0	1	1	1	3	0	3
109	株式会社タムラ設計.	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
110	公益財団法人砺波市花と緑と文化の財団 チューリップ四季彩館	2	2	0	0	1	0	0	1	0	0	2	0	2
111	株式会社チューリップテレビ	2	2	0	1	0	1	0	0	0	0	2	0	2
112	DMM	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1
113	鉄道機器株式会社 富山工場	3	2	1	0	2	0	0	0	0	0	2	0	2
114	株式会社寺島コンサルタント	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
115	東亜合成株式会社 高岡工場	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
116	株式会社東城	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
117	東ソー・ゼオラム株式会社	0	2	0	1	0	0	0	0	1	0	2	0	2
118	藤堂工業株式会社	0	4	0	1	2	0	0	0	1	0	4	0	4
119	得能建設工業株式会社	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
120	トナミ運輸株式会社	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1
121	となみ衛星通信テレビ株式会社	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
122	砺波工業株式会社	4	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
123	砺波市役所	4	6	0	1	2	0	0	0	0	0	3	3	6
124	砺波信用金庫	2	3	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	3
125	株式会社富冷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
126	株式会社富山育英センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
127	富山エフエム放送株式会社	0	3	0	1	1	1	0	0	0	0	3	0	3

No	企業・団体名				県内								県外	合計
		受入 予定	決定	残	富大	県立	富国	高法	富短	高専 本郷	高専 射水	計	計	
128	公益財団法人とやま環境財団	2	2	0	0	0	1	0	0	0	1	2	0	2
129	富山県環境科学センター	6	10	0	2	5	0	0	0	1	0	8	2	10
130	富山県工業技術センター	7	2	5	0	1	0	0	0	0	0	1	1	2
131	富山県総合デザインセンター	2	1	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1
132	富山県高岡農林振興センター	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
133	富山県中小企業団体中央会	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1
134	富山県庁	35	42	0	5	1	0	1	2	0	2	11	31	42
135	富山県土木部	8	8	0	0	2	0	0	0	0	0	2	6	8
136	富山県富山農林振興センター	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
137	富山県農林水産総合技術センター	2	7	0	1	2	0	0	0	1	0	4	3	7
138	富山県薬事研究所	4	8	0	1	5	0	0	0	2	0	8	0	8
139	富山県立図書館	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1
140	富山シティエフエム株式会社	0	4	0	2	0	0	0	2	0	0	4	0	4
141	富山市役所	14	15	0	4	1	0	1	2	1	1	10	5	15
142	富山市役所(富山市立図書館)	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	2
143	一般財団法人富山勤労総合福祉センター とやま自遊館	3	2	1	0	0	0	0	2	0	0	2	0	2
144	富山商工会議所	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1
145	富山信用金庫	6	5	1	1	0	1	0	1	0	0	3	2	5
146	富山スガキ株式会社	3	9	0	3	2	1	0	0	1	0	7	2	9
147	株式会社富山第一銀行	0	26	0	5	0	2	1	4	0	0	12	14	26
148	国立大学法人富山大学	0	11	0	3	0	0	0	5	0	3	11	0	11
149	富山地鉄サービス株式会社	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1
150	富山データ機器サービス株式会社	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
151	富山テレビ事業株式会社 花き部(花メイト)	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	2
152	富山トヨタ自動車株式会社	0	6	0	2	0	1	0	2	1	0	6	0	6
153	富山トヨペット株式会社	0	4	0	1	0	1	0	2	0	0	4	0	4
154	富山労働局	4	5	0	1	1	0	1	1	0	0	4	1	5
155	株式会社ナガエ	2	1	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1
156	中田図書販売株式会社	4	3	1	2	0	0	0	1	0	0	3	0	3
157	株式会社ナチマシナリーエンジニアリング	0	2	0	0	1	0	0	0	1	0	2	0	2
158	滑川市役所	3	4	0	1	0	0	0	2	0	0	3	1	4
159	滑川市立図書館 及び 滑川市立子ども図書館	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
160	南砺市役所	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
161	株式会社日産サティオ富山	10	5	5	3	0	2	0	0	0	0	5	0	5
162	日東メディック株式会社	0	5	0	2	2	0	0	0	1	0	5	0	5
163	日本通運株式会社 富山支店	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
164	日本海ガス株式会社	2	3	0	1	1	1	0	0	0	0	3	0	3
165	日本海環境サービス株式会社	3	2	1	2	0	0	0	0	0	0	2	0	2
166	日本海電業株式会社	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
167	株式会社日本抵抗器製作所	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
168	株式会社日本旅行TIS 富山支店	0	6	0	5	0	0	0	0	0	1	6	0	6
169	ネットヨタ富山株式会社	20	12	8	2	1	3	1	3	0	0	10	2	12
170	野村證券株式会社 富山支店	10	6	4	6	0	0	0	0	0	0	6	0	6

No	企業・団体名	県内											県外	合計
		受入 予定	決定	残	富大	県立	富国	高法	富短	高専 本郷	高専 射水	計	計	
171	株式会社ハイテックス	0	14	0	0	5	0	0	0	4	4	13	1	14
172	株式会社長谷川製作所	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
173	公益財団法人花と緑の銀行（富山県中央植物園）	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
174	株式会社ハマデン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
175	株式会社林土木	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1
176	公立学校共済組合富山宿泊所 パレプラン高志会館	8	6	2	2	0	1	0	3	0	0	6	0	6
177	阪神グループ 阪神化成工業㈱ ファーマバックス㈱大沢野工場	3	1	2	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1
178	株式会社ピア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
179	株式会社PCO	0	6	0	5	0	0	0	0	0	1	6	0	6
180	BBSジャパン株式会社	0	8	0	1	3	0	0	0	4	0	8	0	8
181	東中江和紙加工生産組合	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
182	氷見市役所	0	9	0	3	1	0	0	2	0	1	7	2	9
183	株式会社ヒューマン・サポート	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1
184	ファインネクス株式会社 JMT工場	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1
185	ファインプラス株式会社	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
186	伏木海陸運送株式会社	2	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1
187	公益財団法人伏木富山港・海王丸財団	5	4	1	1	0	0	0	2	0	0	3	1	4
188	株式会社不二越	1	8	0	1	3	0	0	0	2	1	7	1	8
189	文化創造両館合同会社（両館市福野文化創造センターヘリオス 指定管理者）	8	6	2	3	0	1	0	2	0	0	6	0	6
190	株式会社ポーラ	0	3	0	1	2	0	0	0	0	0	3	0	3
191	北星ゴム工業株式会社	0	2	0	0	0	1	0	0	1	0	2	0	2
192	株式会社ほくつう 富山支店	3	5	0	0	2	0	0	0	0	3	5	0	5
193	北電技術コンサルタント株式会社	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
194	株式会社北陸化成工業所	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
195	株式会社北陸銀行	10	50	0	8	1	1	0	2	0	2	14	36	50
196	北陸コカ・コーラプロダクツ株式会社 砺波工場	2	2	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	2
197	北陸コカ・コーラボトリング株式会社	6	15	0	4	2	2	0	1	0	2	11	4	15
198	北陸コンサルタント株式会社	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	2
199	北陸電機製造株式会社	2	2	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	2
200	一般財団法人北陸電気保安協会 富山支店	5	4	1	0	2	0	0	0	2	0	4	0	4
201	北陸電力株式会社	0	13	0	6	0	0	0	0	0	7	13	0	13
202	北陸農政局 庄川左岸農地防災事業所	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1
203	北陸森紙業株式会社 小矢部事業所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
204	一般財団法人北陸予防医学協会 健康管理センター	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
205	ブリーズバイオレーション3号株式会社 ホテルグランテラス富山	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	2
206	日本海シーライン開発株式会社 ホテルグランミラージュ	6	4	2	0	0	0	0	1	0	2	3	1	4
207	株式会社ホテルニューオータニ高岡	0	4	0	1	0	0	1	2	0	0	4	0	4
208	一般社団法人富山県労働者福祉事業協会 ボルファートとやま	0	5	0	2	0	0	0	2	0	0	4	1	5
209	株式会社まちづくりとやま	4	16	0	4	2	1	0	4	0	0	11	5	16
210	松下電建株式会社 富山本店	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
211	株式会社ミズノマシナリー	2	7	0	0	0	0	0	0	7	0	7	0	7
212	株式会社三田商会	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
213	株式会社源	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

No	企業・団体名	県内											県外	合計
		受入 予定	決定	残	富大	県立	富国	高法	富短	高専 本郷	高専 射水	計	計	
214	株式会社宮村ポーリング	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
215	株式会社村尾地研	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
216	明興工業株式会社 北陸事業所	2	2	0	0	1	0	1	0	0	0	2	0	2
217	名鉄観光サービス株式会社 富山支店	0	6	0	3	0	0	0	0	0	1	4	2	6
218	株式会社明文堂プランナー	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1
219	株式会社メタルウェア	2	2	0	0	0	1	0	0	1	0	2	0	2
220	株式会社山口技研	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
221	山崎機工株式会社	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
222	ヤマト地質調査株式会社	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
223	株式会社ユニゾーン	3	5	0	1	1	0	0	0	3	0	5	0	5
224	医療法人社団秀林会 吉見病院	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
225	ラックプロ株式会社	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
226	ディライト株式会社 ラ・プランシュ富山	0	6	0	3	1	1	0	0	0	0	5	1	6
227	株式会社理想経営	0	2	0	0	1	0	0	1	0	0	2	0	2
228	株式会社リッチェル	6	6	0	2	1	0	0	1	2	0	6	0	6
229	YKKグループ(YKK・YKK AP)黒部事業所	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	2
230	ワタキューセイモア株式会社 名古屋支店 北陸営業所	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1
県内230社		551	812	190	193	123	36	16	107	72	53	600	212	812
1	株式会社アークベル	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
2	アール・ビー・コントロールズ株式会社	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
3	株式会社アイ・エス・ビー東北	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1
4	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
5	株式会社AOI Pro.	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
6	株式会社アテック	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
7	あわら市役所	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
8	安城市役所	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
9	株式会社イーライセンス	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
10	石川県観光物産館	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
11	石川県庁	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
12	伊勢崎市役所	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
13	イリソ電子工業株式会社	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
14	株式会社宇徳	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1
15	EIZO株式会社	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
16	ANAラインメンテナンステクニクス株式会社	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1
17	SMBG日興証券株式会社 福井支店	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
18	株式会社SCC	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
19	エステック株式会社	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20	株式会社エヌ・ティ・ティエムイー	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1
21	株式会社大阪屋ショップ(石川県)	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
22	大野市役所	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
23	小千谷観光協会	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
24	株式会社金沢エンジニアリングシステムズ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1
25	金沢市役所	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1

No	企業・団体名	県内											県外	合計
		受入 予定	決定	残	富大	県立	富国	高法	富短	高専 本郷	高専 射水	計	計	
26	亀田製菓株式会社	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
27	川崎汽船株式会社	0	4	0	0	0	0	0	0	0	4	4	0	4
28	川崎近海汽船株式会社	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1
29	岐阜県庁	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
30	岐阜信用金庫	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
31	一般社団法人共同通信社	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
32	清川メッキ株式会社	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
33	神戸市みなと総局	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	2
34	株式会社小松電業所	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
35	小松電子株式会社	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	2
36	佐渡汽船シップマネジメント株式会社	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1
37	株式会社ジェイアール東海高島屋	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
38	株式会社滋賀銀行	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
39	株式会社静岡銀行	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
40	株式会社清水銀行	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
41	株式会社商船三井	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	2
42	新興マタイ株式会社	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
43	新日本海フェリー株式会社	0	6	0	0	0	0	0	0	0	6	6	0	6
44	株式会社成山堂書店	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1
45	有限会社セメントプロデュースデザイン	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
46	創和テキスタイル株式会社	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
47	曾田香料株式会社	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
48	損害保険ジャパン日本興亜株式会社	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
49	第一電材株式会社	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
50	ダイキン工業株式会社	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1
51	株式会社竹内製作所	10	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
52	株式会社中央設計技術研究所	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
53	中部電力株式会社	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1
54	ツアーシステム株式会社	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
55	津軽海峡フェリー株式会社	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	2
56	株式会社テレモーション・マックス	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	2
57	電気通信大学	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1
58	株式会社東京インテリア家具	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
59	東京ガス株式会社	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
60	東京工業大学	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1
61	株式会社東芝	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
62	東北大学	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1
63	株式会社栃木銀行	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
64	トヨタウッドユーホーム株式会社	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
65	トヨタ自動車東日本株式会社	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
66	豊橋技術科学大学	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	3
67	長岡市役所	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
68	長野県信用組合	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1

No	企業・団体名				県内								県外	合計
		受入 予定	決定	残	富大	県立	富国	高法	富短	高専 本郷	高専 射水	計	計	
69	中村留精密工業株式会社	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	2
70	新潟市役所	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
71	新潟造船株式会社	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	2
72	日曹エンジニアリング株式会社	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
73	一般社団法人日本海事検定協会	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	2
74	日本通運株式会社 大阪国際輸送支店	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1
75	日本郵船株式会社	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1
76	日本通運株式会社 東京海運支店	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	2
77	日本特殊陶業株式会社	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
78	株式会社野村総合研究所	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
79	株式会社ハーモニック	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	2
80	浜松市役所	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
81	株式会社BBS金明	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	2
82	株式会社日立製作所	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
83	株式会社ひまわりほーむ	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
84	株式会社福井銀行	0	6	0	6	0	0	0	0	0	0	6	0	6
85	福井県民生活協同組合	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
86	株式会社福井新聞社	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
87	福井信用金庫	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
88	福寿船舶株式会社	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	2
89	株式会社富士通北陸システムズ	0	3	0	3	0	0	0	0	0	0	3	0	3
90	北陸信越運輸局	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1
91	株式会社北國新聞社	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	2
92	株式会社本田技術研究所 四輪R&Dセンター(栃木)	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
93	牧之原市役所	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
94	丸井織物株式会社	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
95	株式会社ミスターマックス	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
96	三谷産業株式会社	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
97	三菱電機株式会社	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
98	有限会社三原汽船	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1
99	ムラタグループ(クアトロブーム)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100	明治安田生命保険相互会社	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
101	文部科学省	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1
102	横河電機株式会社	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	2
103	四日市市役所	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
104	株式会社リッチメディア	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	2
105	株式会社レオパレス21	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県外105社		17	131	17	84	0	0	0	0	0	47	131	0	131
計 335社		568	943	207	277	123	36	16	107	72	100	731	212	943

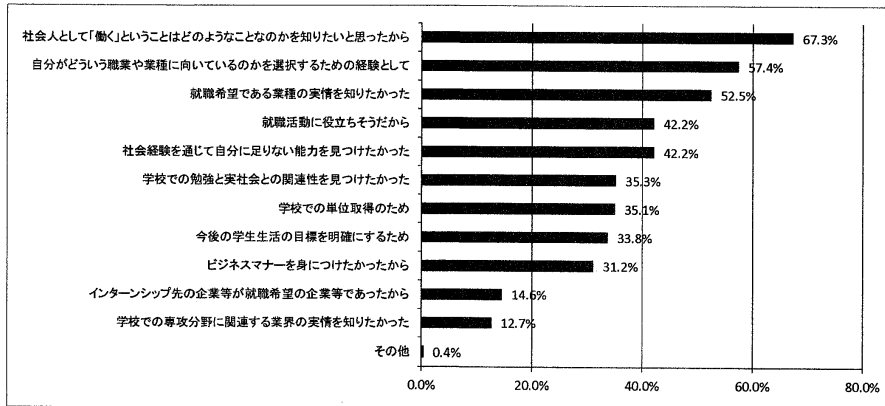
平成27年度・インターンシップ体験後アンケート結果

Q1 インターンシップに参加した目的は何ですか？（複数回答可）

項 目	回 答 数	構 成 比
社会人として「働く」ということはどのようなことなのかを知りたいと思ったから	313	67.3%
自分がどのような職業や業種に向いているのかを選択するための経験として	267	57.4%
就職希望である業種の実情を知りたかった	244	52.5%
就職活動に役立ちそうだから	196	42.2%
社会経験を通じて自分に足りない能力を見つけたかった	196	42.2%
学校での勉強と実社会との関連性を見つけたかった	164	35.3%
学校での単位取得のため	163	35.1%
今後の学生生活の目標を明確にするため	157	33.8%
ビジネスマナーを身につけたかったから	145	31.2%
インターンシップ先の企業等が就職希望の企業等であったから	68	14.6%
学校での専攻分野に関連する業界の実情を知りたかった	59	12.7%
その他	2	0.4%

【その他】

違う大学違う地域の人と触れあい、考えの違いを確認したかった
工作機械に関する知識を深めたかったから。

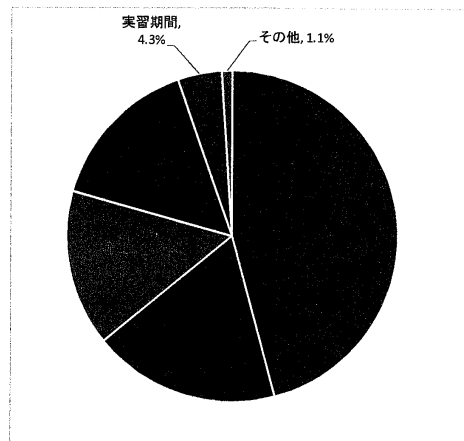


Q2 実習先を選ぶ際に最も重視した項目は何ですか？

項 目	回 答 数	構 成 比
業種	213	45.8%
企業名・事業所名・団体名	85	18.3%
職種	71	15.3%
実習場所	71	15.3%
実習期間	20	4.3%
その他	5	1.1%

【その他の項目は何ですか？】

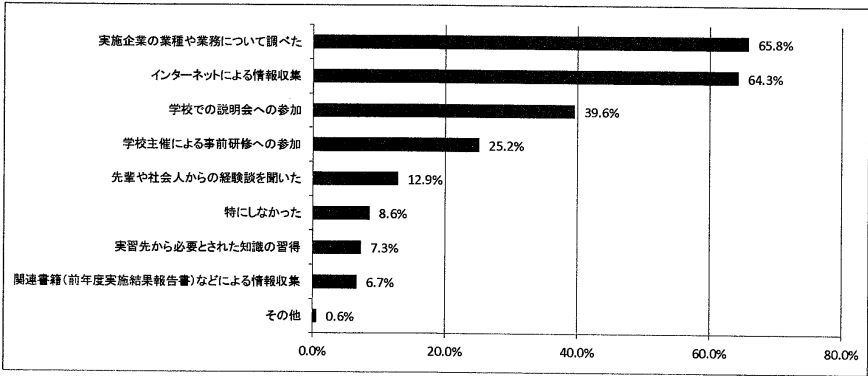
実習の内容
実習現場の清潔感
製薬
研修内容
通える範囲の場所



Q3 実習に参加するにあたってどのような準備をしましたか？（複数回答可）

項目	回答数	構成比
実施企業の業種や業務について調べた	306	65.8%
インターネットによる情報収集	299	64.3%
学校での説明会への参加	184	39.6%
学校主催による事前研修への参加	117	25.2%
先輩や社会人からの経験談を聞いた	60	12.9%
特にしなかった	40	8.6%
実習先から必要とされた知識の習得	34	7.3%
関連書籍（前年度実施結果報告書）などによる情報収集	31	6.7%
その他	3	0.6%

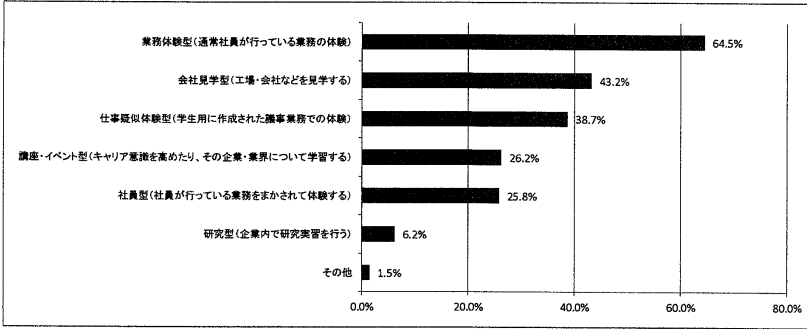
【その他の準備は何ですか？】
実習先への事前訪問
実習先から送られてきた課題
実習報告を見た



Q4 実習内容はどのようなものでしたか？（複数回答可）

項目	回答数	構成比
業務体験型（通常社員が行っている業務の体験）	300	84.5%
会社見学型（工場・会社などを見学する）	201	43.2%
仕事疑似体験型（学生用に作成された諸事業での体験）	180	38.7%
講座・イベント型（キャリア意識を高めたり、その企業・業界について学習する）	122	26.2%
社員型（社員が行っている業務をまかされて体験する）	120	25.8%
研究型（企業内で研究実習を行う）	29	6.2%
その他	7	1.5%

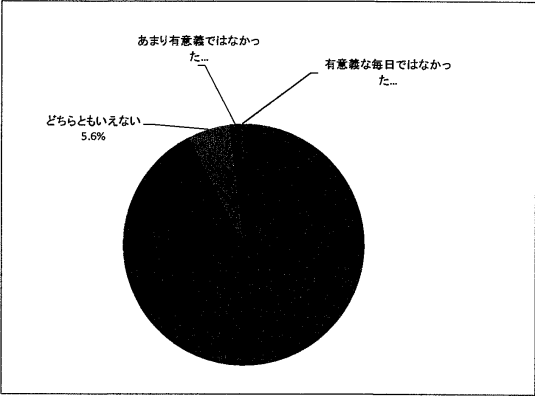
【その他の内容は何か？】
研修施設での様々な研修体験
イベントスタッフ
イベントの補助
グループワークでプレゼンテーションを作成する
イベントの運営手伝い
製品の性能試験の見学、実施



Q5 実習期間は有意義な毎日でしたか？

項目	回答数	構成比
非常に有意義であった	292	62.8%
比較的に有意義であった	138	29.7%
どちらともいえない	26	5.6%
あまり有意義ではなかった	7	1.5%
有意義な毎日ではなかった	2	0.4%

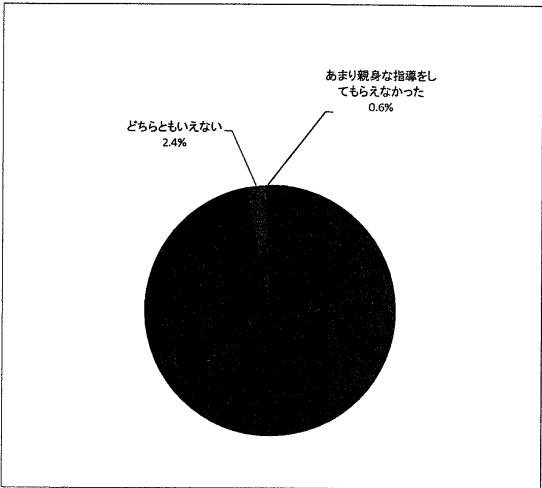
【有意義でなかった理由は何ですか？】
担当者が出張中であつたり、法事であるからと担当してくれない日があり、ただ立っている日があつたから雑務が多かつた。



Q6 実習先の方々は親身な指導をしてくれましたか？

項目	回答数	構成比
非常に親身な指導をしてくれた	348	74.8%
比較的に親身な指導をしてくれた	103	22.2%
どちらともいえない	11	2.4%
あまり親身な指導をもらえなかった	3	0.6%
親身な指導をもらえなかった		

【どのような指導が不足していましたか？】
気分の変化が激しかった。

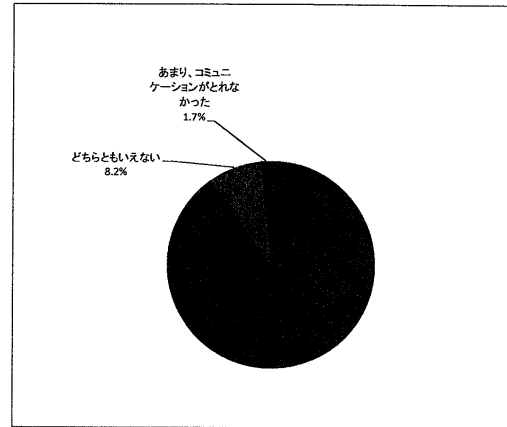


Q7 実習先の方々とコミュニケーションがとれましたか？

項 目	回 答 数	構 成 比
比較的にコミュニケーションがとれた	239	51.4%
充分なコミュニケーションがとれた	180	38.7%
どちらともいえない	38	8.2%
あまり、コミュニケーションがとれなかった	8	1.7%
ほとんどコミュニケーションがとれなかった		

【コミュニケーションがとれなかった理由は何ですか？】

周りが四年生大学の方々と萎縮してしまい、積極的にコミュニケーションをとれなかったから。



Q8 今回の実習であなたが得られたことは何ですか？（複数回答可）

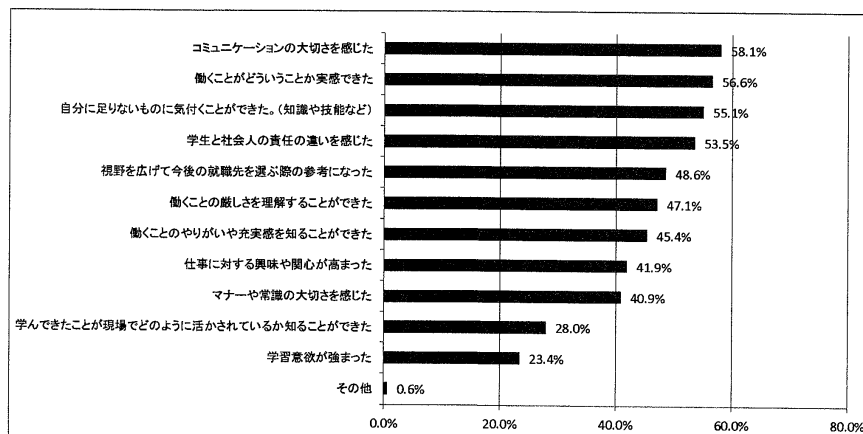
項 目	回 答 数	構 成 比
コミュニケーションの大切さを感じた	270	58.1%
働くことがどういうことか実感できた	263	56.6%
自分に足りないものに気付くことができた。(知識や技能など)	256	55.1%
学生と社会人の責任の違いを感じた	249	53.5%
視野を広げて今後の就職先を選ぶ際の参考になった	226	48.6%
働くことの厳しさを理解することができた	219	47.1%
働くことのやりがいや充実感を知ることができた	211	45.4%
仕事に対する興味や関心が高まった	195	41.9%
マナーや常識の大切さを感じた	190	40.9%
学んできたことが現場でどのように活かされているか知ることができた	130	28.0%
学習意欲が強まった	109	23.4%
その他	3	0.6%

【その他の得られた内容は何ですか？】

自分は社会や組織の一員だと気づくことができた。働くモチベーションを自分はどこに見出すか考えるきっかけとなった。

メモを取る重要性

他学生との交流から多くの刺激を得ることができた。



Q9 今回の実習で特に苦労したことがありますか？（複数回答可）

項 目	回 答 数	構 成 比
コミュニケーション能力	175	37.6%
言葉づかい・挨拶・身なりなどのマナーに関して	152	32.7%
業務内容の理解・習熟	140	30.1%
専攻分野の知識不足	125	26.9%
実務能力・技能の不足	91	19.6%
通勤	77	16.6%
日報・報告書の作成	75	16.1%
作業等に対する体力不足	58	12.5%
パソコン等の情報機器の操作	57	12.3%
勤務時間や規則正しい時間管理	57	12.3%
職場における人間関係	43	9.2%
企業の環境・雰囲気	38	8.2%
その他	10	2.2%

【その他の苦労は何ですか？】

専攻外分野(医学系)の用語を理解し、覚えること

ヒールでの立ち仕事(ヒール慣れしていなかったため)

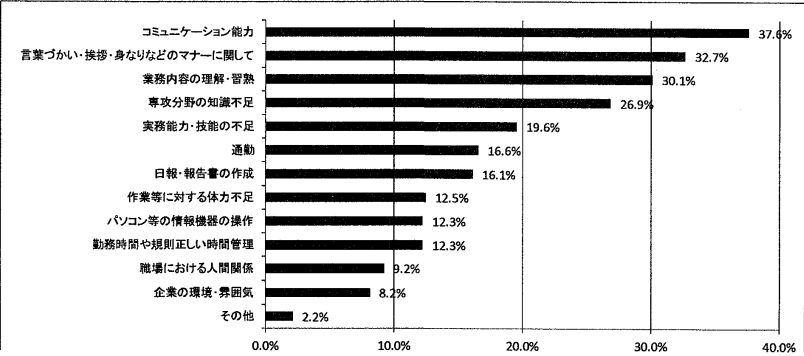
要求されることに對して的確におかつ時間通りに答えなければならない点。

忍耐力

イベントの立案

スーツ、ヒール

特別に作業をするわけでもなく、何時間も立ったまま見学を続けるのはやや苦痛を感じた。



Q10 今回の実習を終えて後輩へのアドバイスを、お聞かせ下さい。

- 1 迷っているなら何でもやってみるべきだと思います
- 2 日頃から言葉遣いを意識した方がいいです。
- 3 業界研究をするべきだと思います。
- 4 大学で学んだことを活かせるのかどうか気になり、今回インターンシップに参加しました。実習では座学、工場見学、実験を行い、実際に社員が行う作業を体験することができました。多くの社会人の方と一緒に作業をすることで、自分が知らない分野についても知ることができてよかったです。インターンシップに参加しようか迷っている、という方がいれば、ぜひ参加してほしいと思います。自分が思っている以上に、いろいろな経験をすることができます。
- 5 自分の専門以外の分野の仕事も視野に入れてインターンシップの企業を選ぶと良いと思います。
- 6 指示されたことはその時間、その日の内に仕上げるようにすることが大切。
- 7 社会を生きていく上で必要なことが多くあることは各々考えていると思うが、実際に経験してみると、想像を遥か超える苦労や喜びを実感できた。
1度でもいいので、必要な経験をすることは悪くないと思うため、やる価値は大いにあると思う。
- 8 インターンシップには積極的に参加すべきだと思います。日頃のコミュニケーションが大切であることを改めて感じました。
- 9 インターンに参加するとしないとでは大きな違いがあります。
興味のある職種以外にも、視野を広げるためにさまざまな職種に参加すべきです。
- 10 服装や言葉遣いなどのマナーはもちろん、指示を受けたらしっかりと返事をするのが大切です。
- 11 私ができていなかったことですが、実家から研修先へ通勤する場合も、特に朝起きる時などの時間の管理は自分で行ってほしいと思います。
- 12 どんな職場に実習に行っても必ず良い経験になるので、とりあえずは参加するべき。
- 13 私は公務員を志望しています。少し恥ずかしいですが公務員を希望した理由は、家族や周りの人たちに勧められるので公務員になろうと思ったからです。自分の意思が緩かったため、公務員の勉強にはなかなか力が入りませんでした。しかし、市役所で実際の仕事をし、地域の人たちと関わり感謝されたことでやりがいを感じ、公務員になりたいと強く思うようになりました。それからは公務員の勉強にインターンシップに行く前よりも一生懸命取り組むことができるようになりました。インターンシップでは、自分に合った職業を見つけられるだけでなく、その仕事をするためには今の自分にどのような力が足りないか気づくことで就職に向けた準備ができると思います。
- 14 経験しといて損はないと思うので参加した方がいいと思います
- 15 まずインターンシップに参加することが大切であると思います。
- 16 知識や技能が身につけていることよりも、挨拶やマナーなど、人として当たり前のことを身につけなければいけないと感じた。
- 17 将来どういった職業に就くとしてもインターンシップでの経験は今後の学生生活においてプラスに働くと思うので是非参加してほしい。
- 18 積極的な態度でいると従業員の方ともいい関係が築けて、実習しやすくなります。
- 19 10日間は長く大変かもしれませんが、自分を見つめ直し将来について改めて考えられる有意義な期間になると思います。頑張ってください！
- 20 インターンシップに参加することは就職活動や、自分の将来を考える上でとても重要なことだと感じました。実際に体験してみてわかることがたくさんありました。何事にもチャレンジする姿勢で取り組みばとても学びの多い経験になります。
- 21 自分が将来やりたいことが明確であればもちろん、その分野の企業へインターンシップとして参加するべきだし、そうでなくてもどこかからのインターンシップに参加した方がいいと思います。最初は不安なことばかりですが、終わった時には何かしら得るものがあると思います。
- 22 身構えず気を楽しんで臨むこと
- 23 実習先が市役所、県庁の場合、
地元の新聞や広報などで最近の市役所、県庁の動きを知っておくとよい。
- 24 今のうちから少々勉強しておいた方が良いでしょう。
- 25 インターンシップに参加することによって学生生活のなかでは知ることが出来ない仕事や社会人としてのマナー、ルールなどを学ぶよい機会になります。参加することで自分の足りないところや補っていききたい知識や能力を知ることができ、今後の学生生活を有意義に過ごすための1つのきっかけとなると思います。インターンシップには参加することを強く勧めます。
- 26 良い体験になるので是非参加してください。
- 27 ちゃんとした目的を持って臨むべき。また、事前に予習等を行っておくことでより理解を深めれることも多かったため、準備していくべき。
忙しい中で対応して頂いていることを忘れてはいけません。
- 28 自分の能力をはかるいい機会になると思います。
- 29 当たり前のこともかもしれないが、実習の場でなくても得られること(例えば、企業理念、同業種の動向など)は前もって調べておけば損は無い。それがインターンシップのみならず、今後の就職先の選定に役に立つと思うから。

- 30 インターンシップに参加することは今の自分に足りないもの確かめるいい機会となるため積極的に参加すると良いと思います。またインターンシップ先では普段の知り合いとは異なるタイプの人と関わることに
なり自分の知らない世界を知る良い機会ともなります。積極的に話しかけていくことが自分の視野を広げる
ためにもよいことであると思います。
- 31 少しでも興味のある業界や企業を実際に自分の目でみて業務を体験出来るチャンスであるため参加するこ
とで多くのことを学び、感じられると思います。
- 32 インターンシップ先の情報がある程度は収集しておくことが大切です。
- 33 ある程度の目的をもって、インターンシップに参加すること。
せっかくのチャンスなので、いろいろ挑戦すること。
- 34 少しでも興味がある業界・業種があるならインターンシップに参加するべきだと思います。
イメージと違うこともあったり多くの発見があると思います。それは、必ず今後の就職活動で活かすことがで
けるので有意義な経験になると思います。
- 35 やる気をもって積極的にやることが大切だということがわかった。
- 36 インターンシップに行く企業を決めるときは、職種や業種だけではなく
過去そのインターンシップでどのような実習内容が行われていたのか調べるとよい。
- 37 インターンシップへ参加するにあたって、業界や企業研究はもちろんそのインターンシップ前後での業界内
でのニュースなど最新のものをチェックしておいた方がいいと思いました。加えて、インターンシップ内で講
義や疑似体験、お話を聞く際に疑問に思ったこと、知りたいと思ったことは積極的に質問することをおすす
めします。特にグループワークがある場合には人見知りや遠慮をしているようでは参加はしていてもどこか
消化不良になってしまいます。知識を以って、知恵をふりしぼり、グループで1番の意見を創造するつもりで
いたほうがよいと思います。結果的にたくさん収穫があったと実感でき、就職活動をする上での実りになっ
たと確信できるように、1日1日を悔いの残らないようにしてください。
- 38 インターンシップに参加しようか迷っている人がいたら、ぜひおすすめしたいです！
普段知ることができないその業界のことがよく分かるし、自分の向き不向きも明確になると思います。
たくさんの企業がありますが、まずは自分が興味を持っている業界のインターンシップに参加してみるとい
いと思います。
実習中は社員の方と少しでも多く会話をすることで、社会人の方の仕事への向き合い方や考え方が分かる
し、自分磨きを進めるためのポイントを教えて頂けると思います。ささいな質問でも、勇気を持って話しかけ
てみると、必ず新しい発見があると思います。
- 39 大学生活とは全く異なった体験ができるので、やるかやらないか迷っている人はやってみた方がよいと思
40 聞きたいことは積極的に聞いてみるといいと思います。社員の方から聞きたいことを遠慮せず聞いて良い
と言っていたら、私自身、気になることをその都度質問させてもらえたことで、貴重なお話を聞かせてい
ただくことができました。質問することで、なかなか無い社会人の方と関わるができる機会をより充実し
たものにすることができると思います。
- 41 どのような実習先へ行ってもコミュニケーション能力が非常に重要なのでコミュニケーション能力を養ってお
くとよい。
- 42 まだ何もやってないのならば取り敢えず一回やってみてから今後どうすればいいか考えてもいいと思う。
- 43 指示を待つだけでなく自分からわからないことはきいて積極的に活動に取り組むことが大切だと思います。
- 44 インターンシップに参加することで、業種に対する理解が深まります。
実際に参加して、自分がこうだろうと想像していたものとは異なる発見をすることが多かったです。
- 45 インターンシップをきちんと最初から最後までやりきるとは自分の強みになると思うので、手を抜かず本気
でインターンシップに参加することだと思います。
- 46 実習先の方とのコミュニケーションは非常に大事
- 47 社員の方とのコミュニケーションが何より大切。人見知りだから、などは理由にならない。
- 48 事前準備をしておく自信をもって臨めると思います。
- 49 他大学の人と一緒にインターンシップを受けることもあるので、協調性をもつことなどコミュニケーションはど
んな場面でも重要になる。
- 50 これからの就職活動に当たって、視野を広げることや業種への深い理解などの目的を持って望むと良いと
思います。
- 51 なんでも、ではなく、目的意識を持ち、やりたいところでやるのがいいと思う
- 52 最初は参加するかどうか迷っていましたが、貴重な機会を逃したくないと思いチャレンジしました。学校の
授業では学べないことがたくさんあるので、挑戦する価値は多いにあると思います。
- 53 実習先の社員の方はとても優しく、丁寧に教えてくれました。最初は不安だらけでしたが、行ってみると楽し
かったです。インターンシップに行くかどうか迷っているのなら気負わずにやればよいと思います。
- 54 積極的に自分から動き、質問することが大切だと思います。
- 55 事前に調査することが大切だと思いました
- 56 分からないことは職場の人に積極的に質問した方がいいと思います。
そこから会話が続きたり、職場の人と仲良くなれたりするので。
- 57 少しでも興味のある業種、職種があるのならインターンシップに参加すべきだと思います。
自分に向いているだろうかとあれこれ考えますが、実際参加してみて、
もしその業種や職種が自分に合わなかったとしても、それがわかっただけで大きな収穫だと思います。

- 58 インターンシップに参加するにあたっての目標を明確にすればよいと思う。
- 59 富山大学程度なら学歴パンチは覚悟するべき
- 60 積極性が大切、先輩社員の方とのコミュニケーションを良く取ること。
- 61 学習への意識や就職に対する気持ちを高めることができるので、ぜひ参加してください。
- 62 とにかく参加することが大事。
意外と同じ考え方をしている人がいっぱいいるので共有できて為になります。
頑張ってください
- 63 インターンシップを選択する際は視野を広くすること。
- 64 服装に関してですが、クールビズということでスーツではなくても大丈夫でした。私は作業日以外はスーツで行ったのですが、かえて浮いているような気がしました。事前に職場に行き、職員の方がどのような服装で仕事をしているのかを見ておくのも良いと思います。
- 65 なんでも経験してみることが大切だと思います。パソコンはWindows,Macのどちらもそれなりに使えるほうが良いと思います。
- 66 業界研究をするべきだと思います。
- 67 社会勉強だと思って、比較的に気軽に参加してみるべきだと思う。実習前の企業の方との打合わせは、非常に緊張して憂鬱だった。また、実習期間中や直後はとにかく業務内容を覚えて実践することが大変で、心身ともに疲れが溜まり「自分はいったい何を学んだのだろう?」という疑問符が浮かぶかもしれないが、後々実感が湧くと思う。好きでやっている大学の授業と、社会人として責任をもって製品を仕上げるというのが一番の違いだった。
- 68 短い期間に様々な職種の人と関わるので、コミュニケーション能力がとても大切だと思う。また質問したいことや疑問に思っていることは進んで聞くべきだと思う。インターンシップは会社見学と比べ、普段は入れない会社の内部まで入ることができる貴重な機会なので、どんどん聞きたいことは聞いたほうが良いと思う。
- 69 自分の希望の業種や職種はもちろん、それ以外の業種や職種にも目を向けて職場体験をすることで、就職活動の際により広い視野で臨むことができると思う。
- 70 自分興味のある職種に絞らず、幅広い分野の職種のインターンシップに参加してほしい。
- 71 インターンシップという形で実際に社会にでて仕事を体験してみることで自分の知らない様々なことを学ぶことができると思うので、積極的な姿勢でがんばってほしい。
- 72 普段のイメージと実際に体験するのでは全然違う。機会があれば積極的に参加すべき。
- 73 就活をする上で、インターンシップをするのとしなのでは大きく違います。企業の社内環境、働いている人の様子、業務内容など人から聞くのと、実際にインターンを通じて学ぶのでは、自分の意識にも大きく違いがあります。やはり、実際にインターンをやることで、自分が志望する業界に関する理解や興味度、働きたいという意欲はかなり影響します。実際やってみて初めて自分に合いそうだな、または合わなそうだなという認識が生まれるはずで。
今は、インターネットが普及して至るところに企業情報や働く人の情報が載っています。しかし、それは一個人の印象出会って、必ずしも自分に当てはまるとは限りません。だからこそ、インターンを通じて自分なりのイメージを膨らませてください。
- 74 社会人とはどのようなものか、実際に体験できて良いと思います。
- 75 最初は面倒くさいと思うが行ってみたら楽しくとても有意義な時間を過ごせるため参加しん方がぜったいに
- 76 特になし
- 77 参加したほうが良いです。
- 78 インターンシップは就職活動に向けて意識を高めることに非常に役に立ちました。
インターンシップ志望動機は人それぞれだと思いますが、多額のお金がかかる、時間が本当に無い以外なら参加することをお勧めします。
- 79 特になし
- 80 参加したほうが良いです。
- 81 必ず行こう。
- 82 社員の方々とのコミュニケーションを取るのが非常に重要であり、多くのことを学べる機会なので頑張ってきてほしいです。
- 83 わからないことは遠慮せずに担当者に聞く。
- 84 コミュニケーションをしっかりとるとより一層理解が深まる(同じ会社のインターンシップにいった人を含む)
- 85 インターンシップへ行くことにより、これからの学校生活をどのような意識で過ごせば良いのかなど気づかれることも多いですし、非常に勉強になると思うのでインターンシップに参加することをお勧めします。
- 86 インターンシップでは、学校等で学べないことがあるので、夏休みなどの長期休暇を利用して体験してみてください。
- 87 私は県外出身者だということもあり、富山県外にインターンシップに参加しました。
インターンシップでは社会人の方だけでなく、他の大学の学生とも交流があり非常に有意義な経験をすることができました。
特に、社員の方のプロジェクトに参加する経験は大学では絶対にできない経験であり非常に勉強になりました。
様々な形で企業がインターンシップを開催しているので、いろいろなところから情報を収集してください。

- 88 参加することで得ることがないということは決してないので、業界の興味があるなしに関わらずいろいろな業界のインターンシップに参加することをお勧めします。
- 89 様々な企業で現場の空気に触れる機会を増やした方が良いと感じた。実際の業務内容を学ぶことも大切だがインターンシップでは現場で働く方々とコミュニケーションをとることが最も重要であると実感した。業務を続けて行っていく上での難しさや充実感は働いている方しか分からないことばかりであり、それを体験しながら聴くことができる体験はなかなかできることではなく、これから就職先を選択していく上で自分にとって何が最も重要なのか、本当に続けられる仕事なのかなどぼんやりとしていたビジョンがはっきりする良い機会であると思った。
- 90 今回、私は、これまでインターンシップを行っていなかった職場へ実習に行かせて頂きました。インターンシップに行ってみたくとも実施しているか分からない場合には、インターンシップを行っているかどうか、直接聞いてみるとよいと思います。
- 91 主にヒールで仕事をする業務だったので、とにかくヒール慣れしておいたほうがよかったなと思いました。
- 92 事前にインターンシップ中の仕事内容を確認したり情報を積極的に取り入れることが必要だと思う。
- 93 参加して現場を見た方が良い。
- 94 インターンはとても貴重な機会です。ぜひ体験すべきだと思います。
- 95 インターンシップはとてもいい経験になると思うので、機会があればぜひ参加してみてください。
- 96 実習先では色々な人に出会います。当たり前のことですが、自分で思っているより大きな声で、一人一人にきちんと挨拶していくことが大切だと思います。
- 97 言葉遣いや身だしなみは急に直せるものではないので、日ごろからマナーに気を付けて過ごすことが大切だと思います。
- 98 インターンシップでは、調べることだけではわからない企業の内情や雰囲気を知ることができます。またこれらをよりよく知るために積極的に社員の方々とコミュニケーションを取りましょう。私は人事部の方々と交流することで、連絡先を交換していただくことができました。困ったこと、知りたいことがあれば連絡することで、情報を提供して下さります。人脈を広げることは重要です。皆さんもインターンシップでは自分からどんどん話しかけに行きましょう。
- 99 実施企業の業界研究を実習前にするべきだと思います。
- 100 積極性があれば有意義な時間を過ごすことができるので聞きたいことやわからないことをリストアップして積極的に社員さんたちに質問したほうがよいです。
- 101 体調が悪いと実習に参加しても集中できないので、体調管理はしっかりするべきだと思う。自分が勉強していることとあまり関係のない企業に行くのはあまりおすすめできない。
- 102 実習に行く前に、企業等についての事前研究を必ずしておくべきだと思います。私の実習先では、施設や業務内容についての説明をしてくださいましたが、ある程度知っておくことで質問もできるし、話も理解しやすいと思います。
- 103 インターンシップ前に受け入れ先から業務内容(何をするのか)を聞いておくといいと思います。
- 104 優しく指導して下さったので、安心して下さい
- 105 インターンシップに参加するかしないか迷っている場合、参加して損はないと思います。自分にとってプラスであれマイナスであれ、得られるものは必ずあります。得られたものがたとえ自分にとってマイナスなものであろうとも、それは無駄なものではなく、むしろ自分の将来を考える際の判断要素になると思います。
- 106 実習先の職員の方々はとても親切なので、わからないことがあったら遠慮せず聞いたほうがいい。パソコンの業務が多い実習先だったので、少し苦勞した。Wordだけでなく、Excelのスキルも多少あったほうがいい。お礼の気持ちを忘れずに。
- 107 自分の希望職種以外の場所でインターンシップを体験するのも悪くないと思いました。最初、接客や対人の仕事を希望していましたが、結果的には民間企業でない組織での事務仕事を体験させていただくことになりました。おかげで、今まで視野になかったところまで、選択肢が広がったと思っています。旅館やショップなど接客だったら、探せばアルバイトでも体験できるかもしれない、だからインターンシップの機会にしか体験できないようなことを。という視点で体験先を選んでもいいと思います。
- 108 初日は特に緊張し、説明がなかなか頭に入っていけないこともあるので、あまり気を張りすぎないように少しリラックスして臨めばいいと思います。
- 109 インターンシップに参加することは時間も労力もいることだから、自分にあった企業を探してしっかり目標をもって参加すればとても有意義になると思うし、とくに理由もなく参加するなら大変なだけだからそのぶん他のことをしたほうがいいと思う。
- 110 実際に体験したり、聞いたりすることで得られるものが多いので、参加してみるといいと思います。
- 111 インターンシップを経て何を学んだか。という質問に明確に答えられるように、自分ができたこと、できなかったことを意識しながらインターンシップに望んで欲しい。また実際に働いている方の話を聞ける貴重な機会であるので積極的に話をしてほしい。
- 112 インターンシップに参加して、とても良い経験になりました。自分が就きたい仕事のことや内容を知る上で参考になることが多いので、是非参加して欲しいと思います。

- 113 実習先を選ぶときは、自分が希望している業種・職種を選ぶことももちろん大事だけれど、自分が興味を持っている業種・職種に挑戦することも自分の視野や考え方を広げるために良いと思う。また、その実習先で本当に自分のしたいことができるのか昨年の実習報告を読んだり先輩から話を聞いてみたりして確認することが大事だと思う。
- 114 業種について深く知ることができた。ぜひ一つだけではなく、いくつかの業種もインターンシップを受けてほしい。
- 115 目標を立てて実習に臨むと積極的になれるので、予想もしてなかった収穫があります。私の一番の収穫は、自分自身も知らなかった心の中にある気持ちに気づけたことです。実習は非常に有意義で自分を成長させてくれるものだったので、迷っていたり、少しでも興味があったらぜひ参加してみてください。参加にあたっては準備をしたり勉強をしたりと少し大変ですが、真剣に臨めば最後には必ず貴重な体験ができたと思えるはずです。私は、何事も勇気を出してやってみると、なにかしら学べるがあると思っています。
- 116 インターンシップ中は有意義な毎日であり、自分に足りないものについて考えられた。
- 117 直接企業の方と関わることで、就職活動や社会人になることの意識が高まりました。ぜひインターンシップに参加することをお勧めします。
- 118 インターンシップに参加することによって、自分が想像していた仕事だけでなく、さまざまな業務があり、実際に職場を見ることができると、とても貴重な経験になると思います。
- 119 実際に企業の中に入って業務を体験させてもらったり、どんな仕事をしているかを教えてもらうことができるので、よい機会だと思います。インターンシップを通して、インターネットで調べてもわからないような大変さとか、やりがいがあるし、その仕事が自分に合っているのかもわかるので、ぜひインターンシップに参加すべきだと思います。
- 120 特になし。
- 121 自分の興味ある企業に積極的にインターンシップに行くべきです。または将来についてあまり考えていない人も、何でも良いのでインターンシップに参加してみてください。自分の視野が大幅に広がります。来年の就職活動、または院試などの計画を建てる一歩にもなります。
- 122 インターン参加者の大半が院生の方だったので、学部生で参加するのは実力の差を感じ、大変でしたが年上の方々に混じりインターンに参加したのはいい刺激になり、自分に足りないものを知ることができたので良かったと感じます。インターンで大切だったと思うのは自分の意見を持ちそれを伝えることだと思います。
- 123 どこかのインターンシップには参加すべき。
- 124 インターンシップを通してたくさんの社会人の方とお話しさせていただいて世の中の様々なことを知ることが大切だと感じました。社会人は、何気ない日常会話だけでなく、社会の実情について熱く意見を交換しあったりしています。人見知りすることなく会話できる力に加えて、朝少しだけ早く起きてニュースを観たり新聞を読んだりして様々なことを知っておくと、社会人の人と有意義なコミュニケーションを取ることができると思います。
- 125 その場のことだけではなく、先のこと先のことを考えて行動するようにした方がよいと思います。
- 126 インターンシップは、その業種を理解するために最も有効な学習方法だと思う。企業の方と実際に顔を合わせてともに作業ができ、人脈を作ることができるのはこの先本格的に就職活動が始まった時に役に立つだろう。可能な限りぜひインターンシップに参加してほしい。
- 127 準備は大変だけれど、実際に体験してみると仕事のやりがいや楽しさを実感することが出来ます。もし、インターンシップに参加しようか迷ってる人がいたら参加することをお勧めします。
- 128 インターンシップに行くのは早ければ早い方がよいと思う。学校では得られない刺激を得ることができ、その後の学生生活が変わってくる。
- 129 最低限、言葉遣い、挨拶、身なりなどのマナーをしっかり身につけて、迷惑のかからないインターンシップを行ってほしいです。
- 130 すでに持っていたイメージと異なった部分を知れ、一層深く理解することができて中身の濃い2週間を過ごしました。インターンシップに参加するにあたって、なんとなくいくのではなく何か目標をもって取り組むとより充実した実習をおくれると思います。時間があるなら何種類かのインターンシップに参加すると良いと思います。イメージとのギャップを小さくし、自分にあった仕事を見つけるのに役立つはずです。
- 131 付け焼刃の敬語をしなくてもいいように普段から言葉遣いに気を付けること。
- 132 インターンシップでは、単に大学に通っているだけでは分からない、社会人として働くことの意義、責任の重さ、仕事のやりがいを知ることが出来ると思います。必ず有意義な時間が過ごせると思うので、興味のある分野のことをもっと深く知るためにもぜひ参加して欲しいです。アドバイスとしてはインターンシップを始める前には学校のマナー講座に出て、ある程度の知識や教養を身に着けた方がよいと思います。
- 133 自分は、周りの友人たちにはインターンシップは面倒だから行かないという人も多かったですが、親に勧められるまま参加したところ、想像していたよりもずっと中身のある実習を経験することができました。業界について知ることも勿論できるし、自己分析の機会にもなります。是非参加してみたいと思います。
- 134 行きたい企業でなくても、実際にリアルな現場での仕事を体験することが大切です。行きたい、気になっている企業があれば、例えば通勤に苦労するとしても行くべきです。私は気になっている企業があり、大阪勤務でしたが、ホテルを3週間とって行きました。お金はかかりましたが、それ以上の経験・仕事をさせてもらえる企業だったので、思い切って行って良かったと感じています。大学1年でも2年でもインターンシップに行き、いろんな世界をみるのが大事だと思います。

- 135 インターンシップは業務の体験が出来るだけでなく、他大学の人や企業の方々との人脈作りにもつながる
 と思います。就職希望の企業や業界でなかったとしても、目的意識を持って参加すれば、思わぬ収穫が得
 られると思います。なのでインターンシップに参加するにあたっては、一つでも多くのことを学びたいという
 気持ちを大切にしてください。
- 136 自分の希望する会社のインターンシップにはぜひ参加し、その会社に対して抱きたい想像と現実の
 ギャップを埋めた方が良いでしょう。
- 137 行きたい企業なら挑戦してみるべき。非常有意義な経験になる
- 138 インターンシップに参加して自分の知識・能力不足を実感できると思うので、ぜひ参加してください。イン
 ターンシップに参加させてもらう際は先輩の言うことをしっかり聞きましょう。
- 139 気になる企業は積極的にインターンシップに参加したほうが良いと思います。
- 140 なるべく人事部の方とお話をする。実際インターンが終わった後直々に人事部の方から連絡があり、
 今後の就活が有利になるような感じがした。
- 141 大抵の企業は大学よりも早く始業するので早く入社すること。また入社時間は道路が混むのでそれも考慮
 に入れること。
- 142 わからないことがあった場合、周りの人に聞いてみることも大切なのでコミュニケーション力を高めておくこ
 とが大切である。
- 143 貴重な体験ができるためインターンシップに参加した方がよい
- 144 大変なこともあるかと思いますが、頑張ってください。
- 145 とても有意義なインターンシップです。
- 146 インターンに参加する側は、学ばせていただいている立場であることを忘れないでおいの方がいいと思う。
- 147 単位をとるためだけのインターンシップにするのか、何かを得て、見つけることのできるインターンシップに
 するのかしっかり考えた上で、インターンシップに臨んでほしい。
- 148 訪問する企業のことを事前に調べておくことで、より深く業務内容を理解することができる。社員の方と積極
 的にコミュニケーションをとることで様々な話を聞くことができる。
- 149 事前に実習先に連絡を取って実習期間中の服装などを聞いておくこと。
- 150 インターンシップは自分の将来を真剣に考える機会の1つであり、
 参加を迷っているなら、ぜひ参加してほしい
- 151 インター先の情報を事前に調べておく心の準備が出来、初日から有意義な時間になる。
- 152 慣れない事への挑戦をする時にはそれなりの覚悟と知識を身につけてのぞみましょう。
- 153 その会社が何をしているのかしっかり調べてから会社へ訪問しよう。
- 154 自分がやりたいと思う職業だけでなく、全く関係ないところも行ってみたいかもしれない。
- 155 希望する業界を見学・体験することを通して自分がやりたいことを明確にすることができた。インターンシッ
 プはぜひとも参加してもらいたい。
- 156 働くということを学びたいならば、インターンシップに参加することは良いと思う。
- 157 お世話になる方に感謝して、実習から何かを得ましょう。
- 158 説明も懇切丁寧で、質問にも快く対応して頂きました。
 わからないことは積極的に聞けば良いと思います。
- 159 自分の学んでいる分野以外の企業でも参加してみてください。案外、関係があったりいろいろの発見があり
- 160 自分の興味のある企業のインターンシップがあれば積極的に参加したほうが良い。
- 161 話を聞いて分からないことは何でも恥ずかしがらずに聞いたほうが良いと思います。
- 162 企業の公式サイトなどをあらかじめ調べて、質問したいことをまとめておくといいです。
- 163 事前に企業の情報を集めたほうが良い
- 164 どんな企業に行ってもインターンシップで得られることはたくさんあります。
 精一杯取り組んで多くのことを学べるととても有意義なインターンシップになります。
- 165 得られるものや、自分や仕事に対しての気付きは必ずあるので、インターンシップに参加する事をお勧めし
- 166 常に受け身になっているとあまり仕事をさせてもらえないと思うので、任された仕事が終わったら、次に何を
 したらいいかを考えて積極的に行動したほうが良いと感じました。
- 167 大学で得た知識が社会ではどのように使われているのかを知ると同時に社会では大学で得る知識だけで
 は不十分であることを学ぶことが出来る、よい機会である。
- 168 ワイヤー、放電、旋盤、フライス盤、研磨加工について学んでおくことをおすすめする。
- 169 インターンシップ先の仕事が自分に適しているかどうか分かる良い機会なのでぜひインターンシップに参
 加することをおすすめします。
- 170 コミュニケーション能力が必要である。
- 171 インターンシップに参加することで今までなかった新しい発見があり、今後の進路選択に役立つと思うの
 で、参加した方がよいと思います。
- 172 企業の方にできるだけ質問したほうがよいと思います。
- 173 実習に入る前にその企業についてインターネットでも良いので調べて業務内容を把握しておくべき。研究関
 連の仕事は地道な作業が多い。
- 174 目的がある参加すべき
- 175 少しでも興味があるのなら、迷わずにインターンシップに行ったほうがよい
- 176 進路を早い段階から考えていった方が、自分に合った仕事を見つけることができるのではないかと考えた。

- 177 インターンシップは自分の気になる企業や業種を良く知ることができる機会です。インターンシップに行って損をすることはないので、行くべきだと思います。
- 178 インターンシップは、働くとはどのようなことであるか実感できるとともに、今後の就職先選びの参考にもな
- 179 受け身でなく、積極的に参加することで見えてくるものがあると思うので、一つ一つ考えて行動し、反省し、改善することが大事だと感じました。
- 180 実際に企業へ訪問し、体験を行うことで、自分の興味のある業種がどのような仕事であるか理解が深まります。また、実習では、普段大学で学んでいることがどのように業務で用いられているかが分かります。そのため、インターンシップに参加することで、就職で企業を選ぶ際に役立つと思うので、積極的に参加するとよいと思います。
- 181 勤務開始時間に遅れないことが当然である。そのため、前日は早めに睡眠をとると良い。また、自宅から勤務地までの所要時間を把握するために予め実習時と同じ通勤手段で時間を測ると良い。
- 182 実習を経験することは重要であると感じることができるためぜひ参加してほしい。
- 183 事前にその企業についての情報を集めておくことが大切である。
- 184 絶対に参加した方が良い
- 185 遅刻を絶対しないこと。
- 186 どの会社でも必要なのは挨拶とコミュニケーション能力。
コミュニケーションが苦手なら、せめて挨拶をしっかりするだけでも印象はだいぶ変わってくる。
- 187 とりあえず、参加したほうがいい
- 188 ・学校からもらう資料はしっかりと目を通すこと
・事前学習として、企業先についてあらかじめ調べるといういかも
・自分がやりたいこと、興味があることをもっていくべき
- 189 自分には何ができて何が足りないのかを知ることができる点
企業、業界を実際に体験することで今後の学生生活にメリハリがつく
- 190 社会というものを学べるのでぜひ参加してほしい
- 191 エントリーシートの志望動機は興味のある部分を、しっかり書いておけば希望する部署に行かせてもらえるかもしれない。
- 192 私は、自分が事前に希望していなかった部署で実習を受けました。しかし、実際にそこで実習を受けると、その部署の方から貴重なお話を聞くことができたので、その部署で実習を受けることができて、本当に良かったと思います。
インターンシップの実習を受ける際に、事前に希望した部署で受けられなくても、それは自分の視野を広げるチャンスです。
だから、希望していないところでも一生懸命に実習を受けてほしいです。
- 193 インターンシップに行く際、その企業について少し調べておくとう理解も高まる
- 194 行った方がいいよ
- 195 生活リズムを正す
- 196 日頃から少しでも政治を理解しておいてほしい。
メモを常に取りるようにしてください。
挨拶を身近にしてください。
- 197 インターンシップ先が決定したら、事前に十分な企業研究が必要だと感じた。私のインターンシップ先は研修生が30名いたため、周りの人との差をつけるために、第一にその企業を熟知すれば実習先の方々の印象に残せると考える。加えて、今回インターンシップに参加して自分に足りないと思ったのは、コミュニケーション能力である。日頃から、挨拶することや人と話すことを心がけるといいと思った。
- 198 営業はかなり付き添いが多いため仕事を実際したいのであれば違う職種をお勧めする。
- 199 毎日緊張しっぱなしで、思っている以上に疲れます。体調管理をしっかりしてください。
- 200 事前に自分が行く実習先について調べておいたほうが社員の方々から非常に有意義な話を聞くことができ
- 201 インターンシップに向けた事前学習は必須であり、そこで学んだことを存分に生かすためには積極的な実習への参加が必要だと思う。
- 202 自分から積極的に動くことが大切だと思いました。
- 203 このインターンシップに参加させていたことで学校生活の後期や4年次にどのような準備をした方がいいのか、ということも教えてくださる企業が多いとおもうのでぜひ参加するといいとおもいます。今後の身構え方がか
- 204 実習を経て働くことへの考え方が変わった。
- 205 事前学習から気合を入れて取り組むことが大切。
- 206 インターンシップは数少ない社会経験のできる、良い機会です。ぜひ参加して社会で生きるとはどういうことなのか？や、働くとはどういうことなのかをしっかりと体験してほしいと思います。
- 207 事前に、先輩方がどのようなことをその企業でしていたかを、調べておいたら実習の時に困らないで済むと思います。
- 208 発言は、積極的に行ってください。社員さん方への質問は、予め考えておくとう良いと思います。
- 209 社会に出るための練習に最適だと思います。
- 210 自分のこれからの進路を考える上で、インターンシップは非常に貴重な体験であると思います。自分が就きたいまたは興味がある仕事があるのであれば、是非参加して、自分で体験してほしいと思います。今回のインターンシップで、自分から主体的に行動を起こさなければ何も変わらないということがよくわかりました。もし、少しでもやってみたいと思うのであれば、積極的に自分から動いて自分を成長させるきっかけにしたいと思います。

211	インターンシップに参加してみて、企業に対するイメージが変わりました。興味がある企業のインターンシップに参加するとこれからの目標が明確になる点もよいと思います。
212	今回参加して社会人と学生の違いを感じることができました。
213	研修を終えて、現在の自分に足りないものに気が付くことができる良い機会となりました。プラスになることばかりで、充実した研修となり、みなさんにもぜひ参加してほしいと思います。
214	慣れない環境ということもあり体調を崩しがちになってしまうと思うので、体調管理に気を付けてほしいと思います。
215	文系でも、製造業の中でもできることがあります。気軽に参加して経験を積みましょう。
216	あいさつをきちんとする事が大切です。
217	是非、インターンシップに参加してください。自分がどのような仕事に向いているのか、また今興味のある職種がどのようなものなのかリアルに感じ取れますし、インターネットだけでは分からないことが多くあります。自分磨きの場と思って、多くのことを吸収してください。
218	百聞は一見に如かず。インターネット等で沢山調べても、実際に体験してみないと分からないことが多かったです。興味がある企業や業種があるなら、まずは何事も体験してみることが大切だと感じました。
219	必要最低限のビジネスマナーを身につけて、インターンシップに臨むべきだと感じました。
220	言葉づかい・挨拶・身なりなどのマナーは必ず必要なスキルです。
221	まじめに取り組むこと
222	このような企業見学でしか理解できないや、わからないことがあるので必ず参加したほうが良い
223	体験することは重要なことです。体験したうえで自分に向いている、向いていない、好き嫌い等の判断をしてください。
224	インターンシップ研修を終えて一番に思ったことが、"インターンシップに行って良かった"ということです。企業の現場に実際に行くことで、インターネットでは絶対に知りえない、現場の雰囲気や企業の健全性に気がつくことができます。特に、就職先として自分が気になっている企業に関してはインターンシップ研修に出向くことをお勧めします。
225	日頃から、年上の方々とコミュニケーションをとるよう心がけて生活したほうがよいと思います。
226	インターンシップは短い期間ですが企業体験で仕事のやりがいなど、より理解を深めることができると思うので是非参加してみてください。
227	インターンシップで何を学びたいか何が得られるか考えながら参加すると自分のためになる
228	今後の就職活動において企業を知る良い研修であると思います。自分がどのような職に就きたいかしっかりと考えていくなかで一つの重要な資料であると思います。
229	あらかじめ企業研究等を行ってから行くと見方や業務への入り方も変わってくると思います。
230	インターンシップでその企業に行ったからといって将来そこに就職するとは限らない。あくまで視野を広げるために行くのだから、学べるものはすべて吸収する気持ちで行くと良い。メモ帳は必需品である。必ずポケットに入れておくべき。企業内はその企業の性格が一番出るところ。よく観察することも大事。
231	インターンシップということで朝早く起きる必要があるため、常日頃夜更かしばかりしている学生は要注意。
232	変に肩に力を入れないことです。自分のすべきことをしていれば失敗してもそこから次に繋がれると考え
233	実習先の企業について、事前に調べておくこと
234	インターンシップに参加することは、社会を知るきっかけになるので非常に良いと思う。
235	とりあえずインターンシップに参加してみることで自己分析をできるのでぜひ参加したほうが良いと思います
236	インターンシップは興味のある企業や業種について知る貴重な機会です。実際に業務を体験したり先輩社員とお話したりすることで、自分の価値観が大きく変わります。また、他の大学の学生たちとの交流を行い刺激を得ることができます。自分を変えたい方は積極的にインターンシップに参加しましょう！
237	企業は山ほどあるので慎重に選びましょう。
238	インターンシップに参加して、身につくものはたくさんあるので、やった方がやらないよりは全然いいと思います。インターンシップに行く際に、常識なビジネスマナー等は身に付けておいた方がいいと思います。
239	指導者の話をしっかりと聞いて、まじめに仕事に取り組めばいいと思います。
240	自分の知りたいことを明確にしておくべきだと思います。
241	コミュニケーションは積極的にとっていった方がいいと思います。報告・連絡・相談を大切に一つ一つの仕事を真面目に責任を持ってやり遂げると達成感があると思います。
242	少しでも多く学んでください
243	意識したことのない業種を体験すると視野が広がり、今後の就職活動に生かせると思います。
244	インターンシップは今までの自分とは違う自分を見つけることができるので、自分から積極的に行動するといいと思う。
245	子どもと触れ合う時間が多く、子どもが好きだという方や子どもが苦手で克服したいという方にお勧めします。また、読み聞かせ等図書館司書を目指す方にも為になる実習が多かったです。
246	積極的にすること
247	実習先の指導者の方の話をしっかりと聞いて、間違いがないように実行する努力をすることが大切だと思

248	実習先の方々は皆親切で丁寧に教えてくれるので、わからないところがあればすぐに相談した方が良いでしょう。緊張はしなくて大丈夫です。
249	少しでも時間空いたら積極的に質問を！
250	事前に企業について知識をつけておいたほうが良いと思います。
251	体験するべきだと思います。
252	日数が多い場合があるため実施日時を確認する
253	自分が将来、志望する業種でも志望しない業種でも仕事の大変さや会社で働く雰囲気だけでも学べると思うのでインターンシップには参加したほうが良いと思います。
254	インターンシップは自分を見つめなおすこともできるので参加したらいいと思います。
255	あいさつや報告は大きくはっきりとした声で、作業はなるべく早さを意識して行う
256	どんな体験をするのかをしっかりと調べておいたほうが良い。社会人としてのマナーなどを身に付けておいたほうが良い。 失敗してもずっと落ち込まずに自分にできることを見つけて積極的に指導を仰ぐようにしたほうが良い。何もできなくなるかもしれないから。
257	大変さだけでなく、楽しさも感じる事ができる
258	前もって目標やテーマを自分で掲げてから行ったほうが良い。目的を明確にすることで、自分のやりたいことや身につけたいこと、足りないところが見つかり成長できるので、目標を掲げてから行くことが大事。
259	いろいろなことを体験するべき
260	是非参加するべきだと思う。
261	自分の興味のある業界、職種をある程度しぼってから体験先を決めた方が良いでしょう。
262	興味や関心のある分野を中心に体験することで思っていたことと実際にやるのとは感じ方や考え方が違ってくるので、失敗を恐れて挑戦することから遠ざからないでチャレンジ精神と笑顔を忘れないことが大切です！
263	自分の目標を立ててから、インターンシップに参加するようにする。
264	実習先の企業研究をよくしておいたほうがよいと思った。
265	面倒くさがらずに、やってみることが大切。やってみて実際に有意義な時間を過ごせた。
266	職場の雰囲気を感じることができるいい機会なのでぜひインターンシップに参加してほしいです。
267	自分から積極的に活動することが大事になります。また、分からないことは、すぐに聞きましょう。たくさん質問をしてメモを取りましょう。
268	普段経験することの出来ないような、貴重な体験をさせていただけました。積極的に仕事に取り組むことが大事であると実感したので、積極的に業務に取りかかると思います。
269	職場の雰囲気、自分の適性、自分に足りないことなどを知る良い機会になると思うので参加したほうがよい
270	実際の職場に行くことで、学べるものが多くありました。就職したい企業がまだ分からなくても、行ってみることで興味がわくこともあると思うので、是非参加すると良いと思います。
271	企業の方が言われたことを聞きしっかりメモを取ることが大切です。 また、正しい言葉使いや、返事が必要です。
272	インターンシップは自分のなりたい業種ではなくとも参加し職場での雰囲気や働き方などを学ぶいい機会のためぜひ参加してほしい。
273	とっさの場合でも礼儀正しくできるように常に礼儀正しく生活するよう心掛ける。
274	社会人の朝は早い
275	学校やアルバイトでは気づかないような自分の長所と短所を知ることが出来る貴重な体験なので、ぜひ積極的に参加してほしいです。
276	研修先で一番注意されたのは、明るさや覇気が足りないということでした。 働く上ではお客様の前でどおどしたり、暗い表情をしてはいけません 研修でも実際の職員と同じ環境にいるわけですから、表に出る行動すべてが周りの人から見られています。 常にはきはきと大きな声と笑顔を心がけてください。
277	事前にインターンシップ先の企業について調べると良い。
278	就活ではないですが、企業で研修をさせてもらっているのだから、しっかりとした礼儀やマナーで臨むべき
279	インターンシップは、必ず参加したほうが自分のためになると思います。
280	事前調査をしっかりするべきです。
281	インターンシップは、自分が将来どんな業界や業種に就きたいと明確に決めていなくても参加するべきです。体験を機に色んなことを学べば、必ず就職活動に役立てることができると思います。
282	明るい挨拶ができることが必要だと感じたので、笑顔の練習をする！
283	今後の進路選択の参考になるので、ぜひ参加してみてください。
284	挨拶は大きな声です。時間をしっかり守る。
285	様々な体験をすることが出来、就職に対して、付けて行かなくてはならない能力など分かったので、良い体験になったと思う。
286	インターンシップは同じ大学の人だけでなく、多くの人と交流できるとてもいい機会になる。 緊張するのは大切だけれど、リラックスしてたくさんコミュニケーションをとることが大切。
287	インターンシップへ行く先には就業体験先のことを事前によく調べておくことが大切だと思います。

288	業種にこだわらずに、知らない業種の知識を深めたいという理由で参加しても良いと思います。自分のこれからの選択の幅が広がりますよ。
289	インターン生だからと与えられた仕事をこなすだけでなく、自分から進んでやることを見つけることも大切だと思いました。
290	とくになし
291	私は実習期間が10日間と、長かったのですが、その分たくさんのことを学び得ることができました。普段、学校では体験できないことがたくさんあって、たいへんいい経験になったと思っています。
292	ホテル業はビジネスマナーが厳しいです。
293	リッチェルでは、さまざまな業務体験ができたので有意義なインターンシップができますので製造業に興味ある方はインターンシップに参加してみてください！！
294	自分の興味ある企業を選んだほうが良い。
295	目的をもっていくとよいです
296	わからないことはすぐに聞くこと！わからないままにしておくとう仕事が進まず迷惑をかけてしまうし、自分から聞かないと教えてもらえないので待ってはいけません。
297	インターンシップに参加することで自分の足りないところや今後の課題が見つかると思うし、いきなり社会に出るよりは学生のうちに体験して多くのことを学んだ方がいいと思います。
298	頑張ってください。
299	自分から積極的に社員の方々に話かけ、コミュニケーションを取りに行くことが必要だと思います。
300	特になし
301	インターンシップでは、本当に、仕事をするということはどういうことについて考えさせられる良い機会だと思いました。
302	頑張ってください。
303	参加するかしないかで迷うならした方がよいとおもう。
304	インターンシップ先を決めるときに、ある程度先輩のレポートやインターネットで情報収集をしたほうがよい
305	職場の方たちには遠慮せず、思い切ったたくさんを質問したほうがよい。聞くことが大事。聞く姿勢も
306	インターンシップは実際の仕事を体験したり、仕事の雰囲気はどういう感じなのか実感することができるので、とても貴重な体験ができます。
307	就活にもいかすことができるので、ぜひ積極的に参加してください。
308	インターンシップでは、自分の興味のある業種、職種を把握し、実際に体験させていたことで自分の想像との違いを認識することができるので、自分が何を知りたいのかを研修前に明確にした方がよいと思います。
309	自分がどのような仕事に就きたいかというビジョンがあるなら、その仕事についてより深く知る必要があると思います。どのような仕事に就くとしても知識というのは大切になってきます。それを学ぶためにインターンシップに参加して、興味関心を深めていってほしいと思います。
310	社員の皆さんがとても優しく親切なので、安心して取り組みます。
311	わからないこともきちんと教えて下さるので、聞きましょう。
312	インターンシップでは受け身の姿勢でいるのではなく、何事にも積極的に行動や発言をしなければ相手にやる気が伝わらないと感じたので、これを意識して実習に臨んでももらいたいです。
313	インターンシップはこれからの就活に役立つと思うので行った方が為になると思います。
314	空いた時間には積極的に質問をしたらいいと思う。
315	さまざまな人と接するのでコミュニケーション力は大切
316	緊張すると思いますが、頑張ってください。
317	インターンシップは自分にとって良い経験になると思います。
318	大変なことも多いと思いますが頑張ってください。
319	興味のある企業を選べばいいと思う。
320	人見知りで営業職ということに不安がありましたがインターンシップを通して自分は人と話すのが楽しく感じ営業職もいいかなと思いました。新しい自分を発見できるきっかけになるかもしれないので職種、業種をあまり絞らずぎずやってみればいいかもしれない案と感じました。
321	期間が短いとかではなくちゃんと自分が行きたい企業に参加すること。
322	慣れない仕事をいきなり体験し、即戦力として働くのは大変な事でしたが、インターンシップを通して働くということや、社会人と学生の違いと身をもって感じることができました。
323	履き慣れていない靴を履かないほうがよいです。
324	やりたいところをやるのが一番いいと思いました。
325	インターンシップは自分の成長につながると思います
326	自分の知識や力になるよう、日々新しいことを吸収する意識が大切だと思います。
327	インターンシップでの体験はとても貴重なものになると思います。
328	自分は出来なかったのですが、失敗を恐れず積極的に行動していくことが大切だと感じました。
329	インターンシップに参加するのとしらないのでは体験後に分かるくらい仕事の大変さややりがい、楽しさを十分に感じる事ができました。体験することで幅広い年齢の方とのコミュニケーションの大切さを知ることができました。また自分に不足していることが実感できる良い機会だと思います。
330	目指す業種や職種と違っていても学べる事が多いので、積極的に参加するべきだと思います。
331	自主企画などを自分で企画し、実際に行うなと思って以上自主性を求められるので、しっかりと心の準備をしておく必要があると思いました。

329	自分が何を学びたいか明確にしてから参加することが大事。
330	普段から挨拶の練習等をしておいた方がいいと思います。
331	インターンシップに参加することによって普段学校の授業では感じることのできない学びが得られるのでぜひ参加してほしいです。
332	就職活動を見据えてインターン先を選んだ方がいいとおもいます。
333	企業理念などをしっかりと理解した上で参加するとよい
334	どんな時でも人との交流やコミュニケーションが大事！
335	インターンシップ頑張ってください。
336	インターンシップは就職活動のためのいい経験になると思います。参加するか迷っている方はぜひお勧め
337	想像を超える仕事量でした。体力がいます。
338	落ち着いて丁寧に仕事をする。一生懸命仕事をし、分からないことは聞く。他人へのマナーや配慮を忘れない。以上のことを意識しながら体験してみることに大きな意味があったと感じました。
339	人の話はしっかり聞き、指示通りの仕事をする
340	特になし
341	今回の実習を終えて、仕事内容を知れただけではなくて企業の雰囲気など、実際に働くことで得られるものがたくさんありました。社会人としての基本的なマナー・コミュニケーション力の大切さが自然と分かるので、インターンシップには参加するべきだと思います。
342	自分の将来の可能性が広がり、自分にとってより良いものになります。 自分の興味のある職業や業種を実際に体験し、自分に向いているかも間近で感じるができます。 少しでも興味のある業種などがあったり、夢を見つけない人は受けることをおすすめします。
343	興味のある職種のところインターンシップにあっても、想像とは違う点がたくさん見つかる。なので、ぜひ興味のあるところに行ってみて、自分に合うかわないか、相違点を発見するべきです。
344	コミュニケーション能力は普段から養っておくことが大事です。
345	私は実習二日目体調を崩し、多くの方に迷惑をかけてしまいました。 暑い中での作業だったので、軽い熱中症だったのだと思います。適宜休憩、水分補給を忘れずに。当然ですが、前日早めに休むなど体調管理も大切だと思います。
346	普段は体験できないことを学べて、将来の視野が広がりました。
347	インターンシップは行って損はないので、是非行くべき。
348	私の専攻している分野とは違った分野を扱っている会社だったので、学校で学ばない事ばかりだった。企業の方から言われたが、情報系の学科の私が電気系の仕事をするとしたら、畑違いだから、厳しいかもしれない。
349	話を聞いただけと実際にその仕事を行ってみるのでは、全然感じ方が違うので面倒と思わず積極的にチャレンジしたらいいと思います。 また、あらかじめ、インターンシップ先の企業について調べてから参加したほうが、その企業に対する理解は深くなると思います。
350	自分の興味のある分野以外にも積極的に目を向けてインターンシップに参加することをお勧めします。実際に参加することで、自分の中での企業や業種に対するイメージが変わるかもしれません。
351	いろいろな人とコミュニケーションをとれるようになっておくべきだと思います。
352	インターネット上ではなかなかわかりにくい職場の雰囲気を実際に体験できたことは非常に貴重な経験だった。インターンシップに参加することは、頭の中での描いているものと実際の現場のギャップを感じることができ、就職先についてよく考えるきっかけになると思う。
353	参加することで仕事に対する興味関心が増し、学校での授業への意欲になった
354	自分の興味のある業種はもちろん、興味のない分野の業種にもしっかりと目を向けてインターンシップに参加したらいいと思います。また、参加することで自分の中での企業や業種に対するイメージが大きく変わったので、参加することをおすすめします。
355	職場の人と積極的に話すべきだと思います。
356	ワードやエクセルなどデータベースに関する知識が非常に役立つと同時にまだまだ勉強が足りないなと感じました。パソコンを速く、正確に使う能力は重要だと思うので身につけたほうがいいと思います。
357	インターンシップは就職する上でとても貴重なものなので是非参加してほしい！
358	例えば、自分がもともと興味のない企業出会ったとしても、実際に行ってみると考えが変わることがある。なんでも経験しておくことが必要だと思う。
359	特になし
360	実習先で少しでも疑問に思ったことがあれば、積極的に質問をすると良いと思います。 また、実習先の業務内容を事前に調査しておくことで深い質問もでき、担当者の関心を引くことが出来ると思います。 実際、私は学校で実習先の業界に関する授業を受けており、それなりの知識がありました。そのおかげで担当者の方の興味を引くことが出来、他校の参加者より大きな印象を残せたと思います。
361	インターンシップは行った方がいい。
362	事前に実習をする企業のことについて調べておいたらより理解が深まると思う。
363	インターンシップ先の企業や、その業種の仕事内容などについて事前に少し調べて知っておいたほうがいいと思います。

364	今年は参加しない人が多かったが、参加するべきだと思う。
365	しっかりインターンシップ先の企業について調べておいた方が良い。
366	睡眠時間を必ず確保する
367	事前準備は先輩に聞くのが1番良い。
368	いきたい企業に行く
369	インターンシップを通じて多くのものを得ることができたので是非参加して欲しい
370	何でもやってみることが大事。でもそれができるのは今、学生のうち。とりあえずやってみる。
371	実際に経験することで学ぶことがたくさんあるので、是非インターンシップに参加してほしい。
372	現場で実際に活躍されている最先端の方々からお話を伺えることは良い機会です。自分の勉強不足を確認できると思います。また、インターンシップ生と共に学び語ることで、同世代の就職・就活に対する意識を知ることができるので、これからの就職活動の励みとなると思います。
373	頑張ってください
374	あらかじめ希望の実習先に行ったことのある先輩や教員の方に話を聞くなどして、調査をしておくこと
375	行ってみないとわからないことばかりだし、何よりも人脈ができるのでぜひインターンには行くべきだと思う
376	楽しんで実習して下さい。
377	インターンシップ先の企業の情報収集は充分以上にして、将来が漠然としている人は良く考えてからインターンシップ先を決めた方がいいと思います。
378	親切で非常に優しい方々だった。この業界に興味があればぜひ参加してみしてほしい。
379	インターンシップは、自分の進路を決める際にとても役立つので、参加したら良いと思う。
380	参加するべき。
381	インターンシップはいくべきです
382	社員の方々のお話をしっかり聞いた方が良いと思います。
383	大企業だからと臆す必要はありません。
384	当たり前のことを正確に行えるようにすることが大切
385	事前の準備を必ずしておくこと。
386	インターンシップ後の専門科目に対する意識が大きく変わった。多くのことを学ぶことができるためぜひ実習を受けてみてほしい。
387	インターンシップはした方がいいと思います。
388	インターンシップはアルバイトとは違います。インターンシップでは実際に企業で働いて、一人一人の責任の重さを感じることが出来ます。
389	インターン先の業務や現在の社会情勢などの知識を少しでも身に付けてからインターンに臨むべき。
390	元気よく挨拶することが大事である。
391	コミュニケーション力は凄く大事です。
392	進路を考えるためにとても役立つ実習なので体験した方がいいと思います。
393	インターンシップに参加する事で将来の就職先の考えになるので是非参加した方が良いと思う。 また、インターンシップでは、コミュニケーションがとても大切です。
394	インターンシップでは学校では学べない貴重な体験ができるので、積極的に参加してください
395	仕事内容で分からないことや気になったことはどんどん聞いた方がいい
396	興味のある企業については、事前によく調査してから、そこで実習を受けるかどうか決めるとよい。
397	とても充実した1週間でした！
398	自分にとって何かしらの利益になると思うのでぜひ参加してみてください。
399	得られるものが多いと思うので、迷っているのなら参加した方がいいと思う。
400	最後まであきらめずにがんばろう
401	CADが好きな人はとても楽しい実習になります。 実際の職場の中でCADをするので職場の雰囲気を感じられます。
402	がんばってください
403	場所選びも含めてインターンシップ先を決めたらいいと思う
404	前日の夜更かしは禁物
405	インターンシップではたくさんのことを得ることが出来ます。 ぜひ、参加しましょう。
406	立ち仕事が多いので、しっかり休んだほうがいいと思います。
407	インターンシップは学校だけでは学べない知識や経験を多く得ることのできる良い機会ですから、積極的に参加することをおすすめします。
408	実習内容は、普段の実験で学んだことが生かす機会が多かったので、普段の実験が将来役にたつことがきっとあります。
409	インターンシップ開始前に出来る限り情報収集はしておくべきである
410	実習ではたくさんのことが学べます。 真摯に向き合ってください。
411	インターンシップに行くにあたってそのインターンシップ先の企業の情報について事前に調べ、また、ある程度の社会のマナーを自分なりに勉強したらいいと思った。
412	勤務時間や集合場所、服装についてよく聞いておきましょう。
413	面倒に感じてもインターンシップは言っておいた方がいい。期間は長ければ企業側も記憶に残ると思う。
414	学校で学んだこと以外のことも勉強しておくべきだと思った。

415	真剣に取り組んでください
416	企業の雰囲気を知ることができる
417	行くからにはとことんやろう
418	しっかりと自身の今後に繋げてください。
419	どんどん企業の人に質問していくべき！
420	何事にも誠実に。これが一番大事。
421	今までの実習内容を見ておくといい。
422	頑張ってください。
423	インターンシップ先までは自宅から50～60kmほどの距離があり自動車通勤でしたが、移動だけで時間がかかってしまったため出来るだけ自宅から近い事業所を希望することをお勧めします。
424	とても意味のあるインターンシップにするためにも学校で学んだ知識をしっかりとみにつけよう
425	インターンシップは参加した方が絶対良い
426	体力があるので体調管理に気をつけてください
427	体力をつけておく
428	就職か進学かで迷っている人は、インターンシップに行くべきだと思う。
429	インターンシップ先で自分の行きたいところなくても、近場を探して企業を知る面で必ず行ってみるべきだ
430	自分に合った職種を絞ってインターンシップ先を選ぶことが大切だった。
431	いい経験になると思うので是非参加してください。
432	情報関係の職を考えている人は行ってみたらいいと思います。
433	社員の皆さんの近くで実習するので、実際の仕事の様子を見ることが出来ます。自分の実習に集中することも大事ですが、実際の仕事の様子を観察するのも大変ためになります。インターンシップでは「見て」「聞いて」たくさんのことを吸収できます。
434	実習先では、学生ではなく1人の社会人として行動をとるように心がける。
435	インターンに行くべきです
436	見学が多いので、睡眠はしっかりとっておきましょう。
437	私は進学を目指していますが、このような機会に参加して勉強していることが社会で仕事として活かされている現場を見ることで学ぶ目的がよりはっきりしたように感じます。就職希望の人だけでなく、進学希望の人も参加することを強く勧めます。貴重な経験はできるうちにしておくべきだと思います。
438	体験以前に、自力で通勤することや日誌・報告書の提出等、時間を守ることと期日を守ることが必須であるから普段から気をつけておくべきだと思った。
439	真面目に取り組む姿勢だけあればうまくやっていけると思うのでその姿勢を大切にしてください
440	学生らしく明るく
441	特になし
442	あらかじめ行く企業についてきちんと調べておくことが大切
443	しっかりと事前準備をしたほうが良いと思う。
444	かなり厳しいです。
445	パンフレットなどだけでは企業の内部はわかりません
446	自分がどのような仕事に向いているのか、また向いていないのかという適性を知るきっかけになる。是非参加すべきだと思う。
447	何かしらの利益になると思うのでぜひ参加されてみてください。
448	期間中は企業の方と交流させていただける貴重な時間なので無駄のないように過ごしましょう。
449	とくにない
450	どのような企業であるかを事前にしらべる
451	自分の就職したい企業に行ったほうがよい
452	工場が2箇所あるので間違えないようにしましょう。
453	絶対に参加するべきである。
454	インターンシップは就職前に就業体験ができるとてもいい機会です。ぜひ、参加して知識を深めましょう。
455	良い経験になるので参加するべき！
456	慣れてないことをするから、自分が感じている以上に疲れやストレスが溜まってしまうので実習中はいつも以上に休息すること。翌日に影響します。
457	インターンシップは社会を知る良い機会なので積極的に参加すべき。
458	特になし
459	自分の趣味を職業にあてることでどう感じるか体験してみることもインターンシップ先の選択の一つだと思う
460	朝は余裕を持って家を出るようにする。 あいさつはコミュニケーションをとる上で必要なことなので、礼儀正しい行動を心がける。 言葉遣いを気をつける。
461	インターンシップは緊張するけれど、しっかりとすればなんとかなる。
462	時間はやっぱり大事なものです。